

部品展開システム

Material Explosion

取り扱い説明書

Synergic Inc.

目次

1	概要	4
1.1	Material Explosion とは	4
1.2	機能概要	4
1.3	適用分野	5
2	動作環境	5
3	インストール／アンインストール	6
3.1	インストール	6
3.2	アンインストール	7
4	機能一覧	8
5	各機能及び操作	11
5.1	起動	11
5.2	データメンテナンス	11
5.2.1	データベース定義編集	11
5.2.2	データベース初期化	12
5.2.3	部品、製品 TAB 区切り Text 新規登録	12
5.2.4	部品、製品 TAB 区切り Text 追加登録	13
5.2.5	部品、製品 個別追加登録	14
5.2.6	部品、製品 編集、削除	14
5.2.7	部品、製品 表示、印刷	16
5.3	構成メンテナンス	18
5.3.1	製品構成 TAB 区切り Text 新規登録	18
5.3.2	製品構成 TAB 区切り Text 追加登録	19
5.3.3	製品構成 個別登録追加登録	19
5.3.4	製品構成 編集、削除	21
5.3.5	製品構成 表示、印刷	22
5.3.6	製品構成 構成チェック	24
5.3.7	複数部品構成 TAB 区切り Text 新規登録	25
5.3.8	複数部品構成 TAB 区切り Text 追加登録	26
5.3.9	複数部品構成 個別登録追加登録	26
5.3.10	複数部品構成 編集、削除	28
5.3.11	複数部品構成 表示、印刷	30
5.3.12	複数部品構成 構成チェック	31
5.4	在庫管理	32
5.4.1	在庫（入庫）量 TAB 区切り Text 登録	32
5.4.2	在庫情報表示、印刷	33
5.4.3	在庫情報メンテナンス	37
5.4.4	在庫なしデータ表示、印刷	39
5.4.5	入庫処理	42
5.5	製品展開、製造、エクスポートポート	43
5.5.1	製品展開、製造	43
5.5.2	複数部品製造	58
5.5.3	エクスポート	62
5.5.4	バックアップ／リストア	63
6	メッセージ	65
7	ログデータ	70
7.1	ログファイルの格納場所	70
7.2	ログデータのフォーマット	70
7.3	ログ種別	70
8	サンプルデータ	72

8.1	MatexTestData.xls	72
8.2	製品、部品新規登録.txt	72
8.3	製品、部品追加登録.txt	72
8.4	構成情報新規登録.txt	72
8.5	構成情報追加登録.txt	72
8.6	複数部品構成情報新規登録.txt	72
8.7	複数部品構成情報追加登録.txt	72
8.8	在庫登録.txt	72
9	その他	73

1 概要

1.1 Material Explosion とは

Material Explosion は部品展開（製品展開）のソフトウェアです。

製品を製造するにはそれを構成する下位の半製品、部品が必要となり、その下位の半製品は更にその下位の部品や半製品が必要となります。

Material Explosion はそれらの製品の構成を末端まで展開し、各レベルでの必要数量と在庫数量を照らし合わせ、製造可能／不可能判定、或は不足部品の抽出等の機能を有しています。

1.2 機能概要

- データベース定義
製品コードの桁数や各種数値省略時のデフォルト値を設定し、使用環境に合わせてデータベースを定義します。
- 製品、部品情報の登録、編集
製品、部品情報を画面からの入力、及びTAB 区切り Text ファイルを読み込むことによって、**Material Explosion** に登録します。
また、製品、部品情報の編集、削除、表示、印刷も可能です。
- 製品構成の登録、編集
製品の構成情報を画面からの入力、及びTAB 区切り Text ファイルを読み込むことによって、**Material Explosion** に登録します。
また、構成情報の編集、削除、表示、印刷も可能です。
- 複数部品構成の登録、編集
通常、製品は下位の複数の製品及び部品によって一つの上位製品が製造されます。
複数部品とはその逆で、一つの製品、部品から複数の部品が製造されるようなケースを本システムでは複数部品と呼びます。1 枚の鉄板をプレスして複数の同一パーツを製造したり、1 反の生地より複数の衣類の同一パーツを裁断したりする場合はこれに該当します。
その複数部品の構成情報を画面からの入力、及びTAB 区切り Text ファイルを読み込むことによって、**Material Explosion** に登録します。
また、複数部品構成情報の編集、削除、表示、印刷も可能です。
- 在庫情報の登録、編集
在庫情報を画面からの入力、及びTAB 区切り Text ファイルを読み込むことによって、**Material Explosion** に登録します。
また、在庫情報の編集、削除、表示、印刷も可能です。
- 製品の展開、製造、製造時の在庫数量の更新
製品構成の展開、製品の製造、製造時の使用部品の引き当てによる在庫の減算、製造品の在庫の加算等の処理を行います。
- 複数部品の製造、製造時の在庫数量の更新
複数部品の製造、製造時の使用部品の引き当てによる在庫の減算、製造品の在庫の加算等の処理を行います。
- エクスポート
製品表、構成表、在庫表等を TAB 区切り Text ファイルで出力します。
- バックアップ／リストア
データベースのバックアップ、リストアを行います。

1.3 適用分野

Material Explosion は以下のような用途への適用が考えられます。

- 工業製品製造
各パーツを組み合わせて製品を製造する典型的な **Material Explosion** の適用分野です。
- 飲食品生産
部品や製品に消費期限やグレードを定義できますので食材を部品として捉え、各種調理品、加工食品の生産にも適用できます。
- 化学薬品生産
飲食品生産と同様に消費期限を定義できますので、各種原材料を配合、調合する化学薬品の生産にも適用できます。
- アパレル
ボタンやファスナー等を部品として捉える他、複数部品製造を 1 反の反物から衣類のパーツを複数裁断して作る場合にも適用できます。

2 動作環境

Windows XP/Windows 7 または完全互換性のある上位バージョン

本ソフトウェアは **Microsoft .NET Framework 2.0** 以上が必要です。インストールするマシンに **Microsoft .NET Framework** がインストールされていない場合は本ソフトウェアをインストールする前に **Microsoft .NET Framework** をインストールしておいて下さい。

3 インストール／アンインストール

3.1 インストール

3.1.1 .NET Framework のインストール

Material Explosion が稼動するためには Microsoft .NET Framework 2.0 以上がインストールされている必要があります。

Microsoft .NET Framework がインストールされているかどうかを確認するためには「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」で表示される、《現在インストールされているプログラム》の一覧で確認することが出来ます。

Microsoft .NET Framework がインストールされていない場合、Material Explosion をインストールする前に Microsoft .NET Framework をインストールする必要があります。

インストールは以下の方法で行えます。

尚、Windows 7 では既に Microsoft .NET Framework はインストールされていますので本処理は通常は必要ありません。

- 3.1.1.1 Microsoft ダウンロードセンターより Microsoft .NET Framework 2.0 と Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack をダウンロード、又は他の方法で入手し、インストールする。

または

- 3.1.1.2 インターネットから Microsoft .NET Framework をダウンロード可能なネットワーク環境で、梱包物に含まれている HelloWorld のセットアップを実行する。

HelloWorld のインストーラは Microsoft のインストーラを使用しています。

Microsoft のインストーラはプログラムのインストールに先立って、Microsoft .NET Framework をダウンロードしてインストールする必要がある場合、ダウンロードセンターへ接続します。そこからダウンロードが出来ますのでダウンロードし、Microsoft .NET Framework をインストールして下さい。その場合は、HelloWorld はインストールされません。HelloWorld は「Hello World!」と書かれた画面を表示するだけのプログラムなのでインストールされなくても問題ありませんが、HelloWorld のインストールが必要な方は再度 HelloWorld のセットアップを実行して下さい。

Microsoft .NET Framework のインストールが完了した時点でシステムは再起動される場合があります。

Material Explosion はインストール時に初期設定を行う必要があります。そのため、インストールの途中でシステムの再起動が行われると正しくセットアップが完了しない恐れがあるため、システム再起動の可能性のある Microsoft のインストーラは使用していません。

3.1.2 Material Explosion のプログラム

1. MaterialExplosionSetup 内の MaterialExplosionSetup.exe を実行して下さい。
2. セットアップウィザードが表示されるので《次へ》をクリックして下さい。
3. 使用許諾が表示されるので同意される場合《次へ》をクリックして下さい。同意されない場合は《キャンセル》をクリックしてインストールを中止して下さい。
4. インストールディレクトリを指定して《次へ》をクリックして下さい。
5. コンポーネントの選択画面が表示されますのでそのまま《次へ》をクリックして下さい。
6. プログラムグループの指定画面が表示されますのでそのまま《次へ》をクリックして下さい。
7. 追加タスクの選択画面が表示されますのでショートカットの作成を指定して（通常はそのままで問題ないです）《次へ》をクリックして下さい。
8. インストール準備完了の画面が表示されますので《インストール》をクリックして下さい。

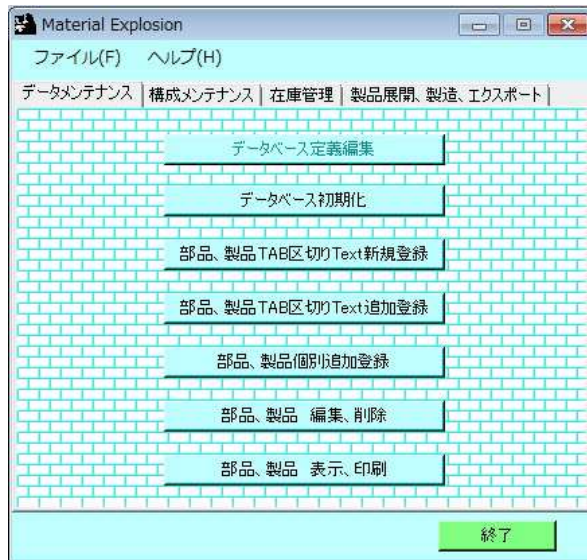
9. セットアップウィザードの完了画面が表示されますので《完了》をクリックして下さい。インストールが完了します。
10. Microsoft .NET Framework をインストールせずに **Material Explosion** をインストールした場合、**Material Explosion** の実行時にエラーとなりますので **Microsoft .NET Framework** を後からインストールして下さい。

3.2 アンインストール

プログラムの追加と削除から **Material Explosion** のアンインストールを行って下さい。

4 機能一覧

4.1 データメンテナンス



4.1.1 データベース定義編集

製品コードの桁数や各種数値省略時のデフォルト値を設定し、使用環境に合わせてデータベースを定義します。Material Explosion のインストール直後、及びデータベースが初期化されている場合のみ可能です。

4.1.2 データベース初期化

全てのデータを破棄し、データベースを初期化します。データベース定義も初期化されます。

4.1.3 部品、製品 TAB 区切り Text 新規登録

部品、製品の情報を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより古い登録データを破棄し、新規に登録します。

4.1.4 部品、製品 TAB 区切り Text 追加登録

部品、製品の情報を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより追加登録します。

4.1.5 部品、製品 個別追加登録

部品、製品の情報を画面より追加登録します。

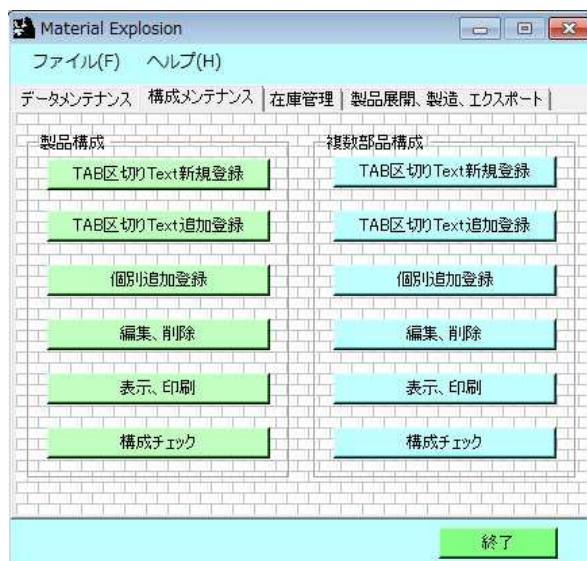
4.1.6 部品、製品 編集、削除

部品、製品の情報を画面から編集、削除します。

4.1.7 部品、製品 表示、印刷

部品、製品の情報を表示、印刷します。

4.2 構成メンテナンス



4.2.1 製品構成 TAB 区切り Text 新規登録

製品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより古い登録データを破棄し、新規に登録します。

4.2.2 製品構成 TAB 区切り Text 追加登録

製品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより追加登録します。

4.2.3 製品構成 個別追加登録

製品構成を画面より追加登録します。

4.2.4 製品構成 編集、削除

製品構成を画面から編集、削除します。

4.2.5 製品構成 表示、印刷

製品構成を表示、印刷します。

4.2.6 製品構成 構成チェック

製品構成に間違いがないかどうかチェックします。

4.2.7 複数部品構成 TAB 区切り Text 新規登録

複数部品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより古い登録データを破棄し、新規に登録します。

4.2.8 複数部品構成 TAB 区切り Text 追加登録

複数部品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより追加登録します。

4.2.9 複数部品構成 個別追加登録

複数部品構成を画面より追加登録します。

4.2.10 複数部品構成 編集、削除

複数部品構成を画面から編集、削除します。

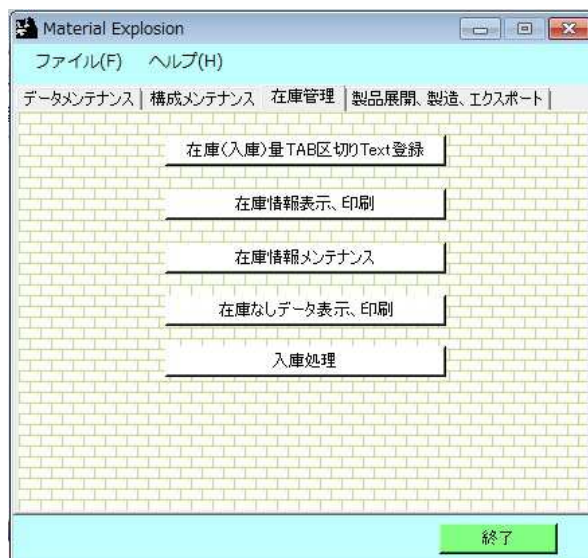
4.2.11 複数部品構成 表示、印刷

複数部品構成を表示、印刷します。

4.2.12 複数部品構成 構成チェック

複数部品構成に間違いがないかどうかチェックします。

4.3 在庫管理



4.3.1 在庫（入庫）量 TAB 区切り Text 登録

在庫量を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより入庫します。

4.3.2 在庫情報表示、印刷

在庫情報を表示、印刷します。

4.3.3 在庫情報メンテナンス

在庫の存在する部品、製品の在庫情報を画面よりメンテナンスします。

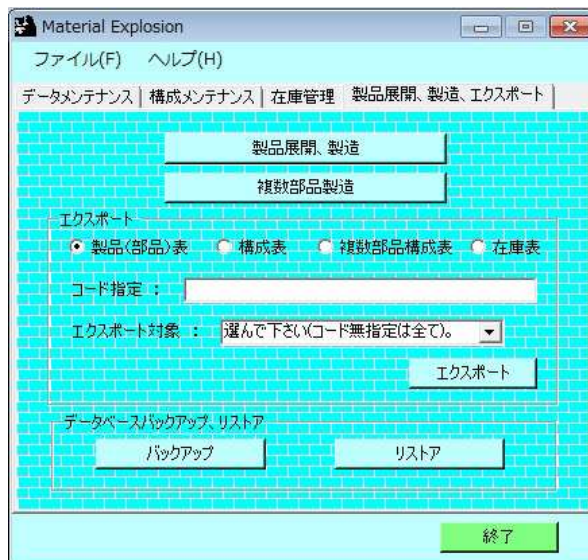
4.3.4 在庫なしデータ表示、印刷

在庫のない部品、製品の情報を表示、印刷します。

4.3.5 入庫処理

製品、部品を画面より入庫します。

4.4 製品展開、製造、エクスポート



4.4.1 製品展開、製造

製品の構成を展開し、製品を製造します。製造時には、使用した部品、下位製品の在庫量の減算、製造製品の在庫量の加算を行います。

4.4.2 複数部品製造

複数部品を製造します。製造時には、使用した部品、製品の在庫量の減算、製造部品の在庫量の加算を行います。

4.4.3 エクスポート

製品表、構成表、在庫表等を TAB 区切り Text ファイルで出力します。

4.4.4 バックアップ／リストア

データベースのバックアップ、リストアを行います。

5 各機能及び操作

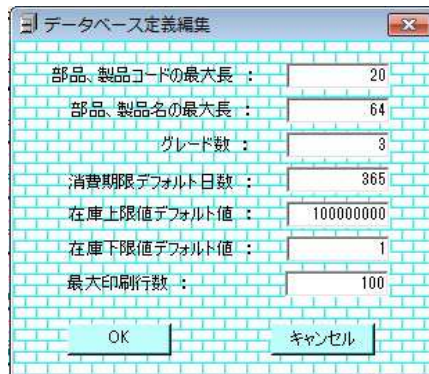
5.1 起動

Material Explosion (Matex.exe) をスタートメニューより選択し、起動します。

5.2 データメンテナンス

5.2.1 データベース定義編集

製品コードの桁数や各種数値省略時のデフォルト値を設定し、使用環境に合わせてデータベースを定義します。Material Explosion のインストール直後、及びデータベースが初期化されている場合のみ可能です。



- ✧ 部品、製品コードの最大長
部品、製品コードの最大文字数を指定します。初期値は 20 文字です。
- ✧ 部品、製品名の最大長
部品名、製品名の最大文字数を指定します。初期値は 64 文字です。
- ✧ グレード数
各部品、製品のグレードのデフォルト数を指定します。初期値は 3 です。
- ✧ 消費期限デフォルト日数
部品、製品に消費期限がある場合で、入庫時に期限が設定されていない場合の入庫日からのデフォルト日数を指定します。初期値は 365 日です。
- ✧ 消費期限デフォルト日数
部品、製品に在庫上限値がある場合で、部品、製品情報登録時に上限値が設定されていない場合のデフォルト上限値を指定します。初期値は 100000000 です。
尚、この値は Material Explosion の処理事自体には特に必須ではありません。部品、製品情報を本システムよりエクスポートし、他システムで使用する際に必要になる可能性もありますので、そのために定義しているものです。
- ✧ 在庫下限値デフォルト値
部品、製品に在庫下限値がある場合で、部品、製品情報登録時に下限値が設定されていない場合のデフォルト下限値を指定します。初期値は 1 です。
尚、この値は Material Explosion の処理事自体には特に必須ではありません。部品、製品情報を本システムよりエクスポートし、他システムで使用する際に必要になる可能性もありますので、そのために定義しているものです。
- ✧ 最大印刷行数
各種情報を印刷する際の 1 ページあたりの印刷行数を指定します。初期値は 100 行です。

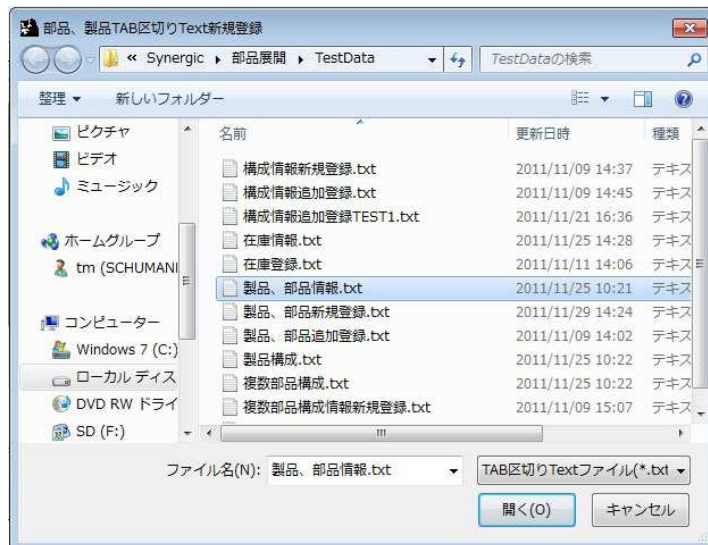
5.2.2 データベース初期化

全てのデータを破棄し、データベースを初期化します。データベース定義も初期化されます。



5.2.3 部品、製品 TAB 区切り Text 新規登録

部品、製品の情報を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより古い登録データを破棄し、新規に登録します。



☆ Text ファイルフォーマット

- 「//start」が現れるまではコメント行です。
- 「//end」以降はコメント行になります。
- 「//」で始まる行はどこに現れてもコメント行です。
- データ行の各フィールド定義は以下のようになり、それぞれのフィールドを TAB コードで区切ります。
 - コード (必須)
部品、製品コードをデータベース定義編集で定義した長さ以内に指定します。
尚、**アルファベットの大文字と小文字の違いは無視され、同じもの**として扱います。
 - 名称
部品、製品の名称をデータベース定義編集で定義した長さ以内に指定します。指定しない場合、空白になります。
 - 単位
該当部品、製品の単位 (Kg、m等) を指定します。指定しない場合、空白になります。
 - 種別
部品、製品の種別を指定します。
指定しない、又は半角の「0」の場合は「部品」、それ以外の場合は「(半) 製品」になります。
尚、本システムでは**下位構成の存在するものを「(半) 製品」と定義**します。
 - グレード数
部品、製品の品質に差異がある場合もあり、そのような場合のためにグレードの数を

指定できます。

該当部品、製品のグレードの数を指定します。指定しない場合、データベース定義編集で定義した数になります。

➤ 消費期限

該当部品、製品に消費期限を設定するかどうかを指定します。

指定しない、又は半角の「0」の場合は「設定しない」、それ以外の場合は「設定する」になります。

➤ 上限監視設定

該当部品、製品の在庫量の上限監視を行うかどうかを指定します。

指定しない、又は半角の「0」の場合は「行わない」、それ以外の場合は「行う」になります。

➤ 上限設定値

上限監視を行う場合、上限値を指定します。上限監視を行わない場合は空白を設定します。値を設定しても設定値は無視されます。

➤ 下限監視設定

該当部品、製品の在庫量の下限監視を行うかどうかを指定します。

指定しない、又は半角の「0」の場合は「行わない」、それ以外の場合は「行う」になります。

➤ 下限設定値

下限監視を行う場合、下限値を指定します。下限監視を行わない場合は空白を設定します。値を設定しても設定値は無視されます。

➤ 予備 1

予備エリアです。何も設定しません。何か設定しても無視されます。

➤ 予備 2

予備エリアです。何も設定しません。何か設定しても無視されます。

➤ コメント

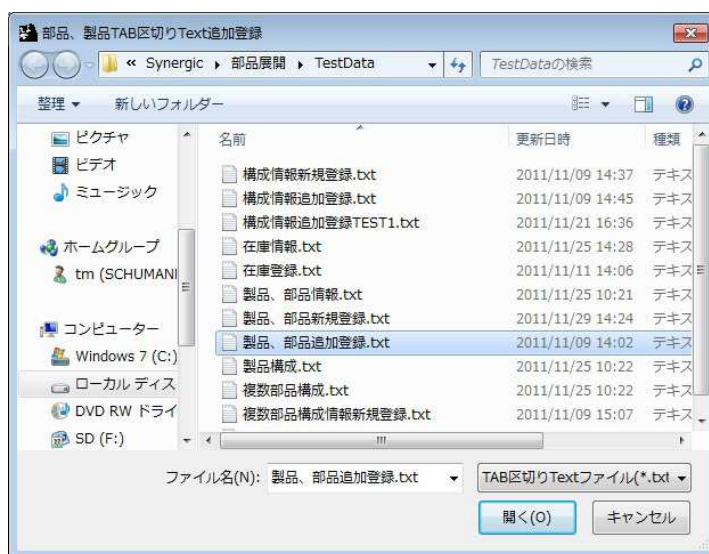
コメントエリアです。

- Text ファイル内に同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。

- フォーマットの具体例は同封のサンプルデータを参照して下さい。

5.2.4 部品、製品 TAB 区切り Text 追加登録

部品、製品の情報を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより追加登録します。



☆ Text ファイルフォーマット

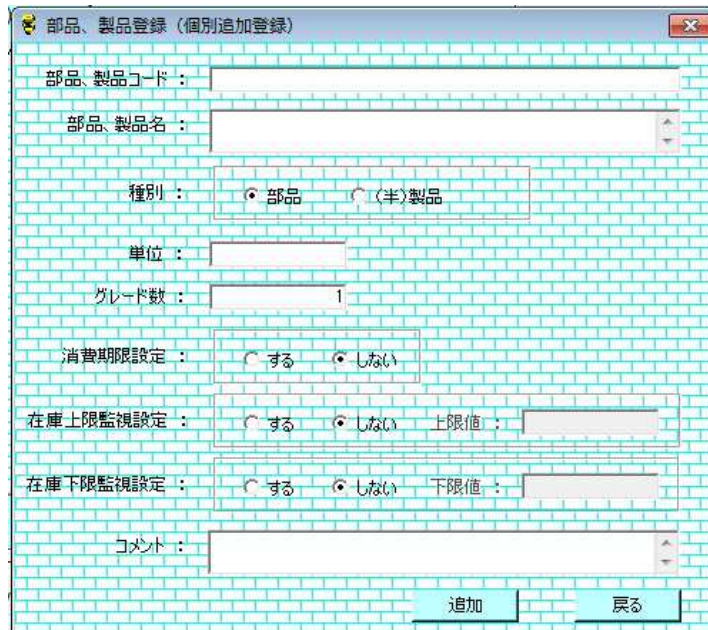
部品、製品 TAB 区切り Text 新規登録と同様です。

- Text ファイル内、及びデータベース内に同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。

す。

5.2.5 部品、製品 個別追加登録

部品、製品の情報を画面より追加登録します。



部品、製品登録（個別追加登録）画面のスクリーンショット。背景は水色のタイル模様。タイトルバーには「部品、製品登録（個別追加登録）」と表示されている。フォームには以下の項目がある：「部品、製品コード」入力欄、「部品、製品名」入力欄、「種別」ラジオボタン（「部品」が選択済み）、「単位」入力欄、「グレード数」入力欄（値は1）、「消費期限設定」ラジオボタン（「しない」が選択済み）、「在庫上限監視設定」ラジオボタン（「しない」が選択済み）と「上限値」入力欄、「在庫下限監視設定」ラジオボタン（「しない」が選択済み）と「下限値」入力欄、「コメント」テキストエリア。右下には「追加」と「戻る」ボタンがある。

部品、製品コード等必要なデータを入力し、追加登録します。データベース内に同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。

5.2.6 部品、製品 編集、削除

部品、製品の情報を画面から編集、削除します。



部品、製品編集（編集、削除）画面のスクリーンショット。背景は水色のタイル模様。タイトルバーには「部品、製品編集（編集、削除）」と表示されている。フォームには以下の項目がある：「部品、製品コード」入力欄（右側に「検索」と「表示」ボタン）、「部品、製品名」入力欄、「種別」ラジオボタン（「部品」が選択済み）、「単位」入力欄、「グレード数」入力欄、「消費期限設定」ラジオボタン（「しない」が選択済み）、「在庫上限監視設定」ラジオボタン（「しない」が選択済み）と「上限値」入力欄、「在庫下限監視設定」ラジオボタン（「しない」が選択済み）と「下限値」入力欄、「コメント」テキストエリア。右下には「更新」、「削除」と「戻る」ボタンがある。

- ▶ 編集或は削除する部品、製品を指定します。
 - ✧ 指定方法は「部品、製品コード」の欄に該当コードを入力し、「検索」ボタンをクリックします。一致するデータが存在する場合、該当データの現在の情報が表示されます。
 - ✧ 又は、「部品、製品コード」の欄にコードの一部を入力し、「表示」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が存在する部品、製品の一覧が表示されます。「部品、製品コード」の欄に何も入力せずに、「表示」ボタンをクリックした場合、全ての部品、製品の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。

部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
B001	部品001	部品	
B002	部品002	部品	
S001	製品001	(半)製品	
S002	製品002	(半)製品	
B003		部品	
B004	部品004	部品	
B005	部品005	部品	個
B006	部品006	部品	個
B007	部品007	部品	m
B008	部品008	部品	個
B009	部品009	部品	個
B010	部品010	部品	個
B011	部品011	部品	個
B012	部品012	部品	個

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された部品、製品コードが「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。
対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

➤ データの更新、削除

選択されたデータの現在の情報が表示されます。

✧ 更新の場合、更新できるのは「部品、製品名」、「単位」、「グレード数」、「コメント」です。但し、グレード数は減らすことはできません。更新データの入力終了したら「更新」ボタンをクリックします。

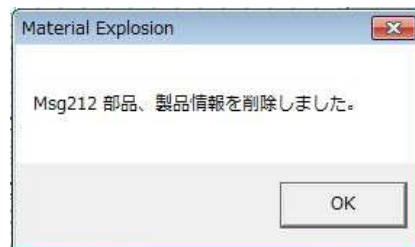
確認メッセージが表示され「はい」をクリックするとデータが更新されます。



☆ 削除の場合、「削除」ボタンをクリックします。

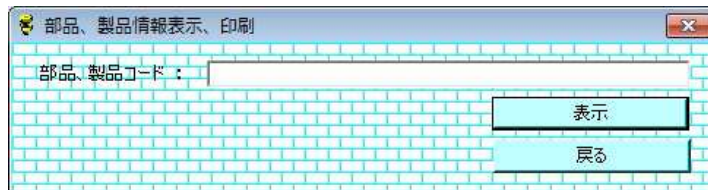


確認メッセージが表示され「はい」をクリックするとデータが削除されます。



5.2.7 部品、製品 表示、印刷

部品、製品の情報を表示、印刷します。



- 表示、印刷する部品、製品を指定します。
「部品、製品コード」の欄にコードの一部を入力し、「表示」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が存在する部品、製品の一覧が表示されます。「部品、製品コード」の欄に何も入力せずに、「表示」ボタンをクリックした場合、全ての部品、製品の一覧が表示されます。

部品、製品情報表示、印刷

部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
B001	部品001	部品	
B002	部品002	部品	
S001	製品001	(半)製品	
S002	製品002	(半)製品	
B003		部品	
B004	部品004	部品	
B005	部品005	部品	個
B006	部品006	部品	g
B007	部品007	部品	m
B008	部品008	部品	個
B009	部品009	部品	個
B010	部品010	部品	個
B011	部品011	部品	個
B012	部品012	部品	個

戻る 印刷 TAB区切りText出力

表示内容

- ✧ 部品、製品コード
- ✧ 部品、製品名
- ✧ 種別
- ✧ 単位

印刷

「印刷」ボタンをクリックすることにより「部品、製品情報」を印刷します。

部品、製品コード : B001	部品、製品名 : 部品001	種別 : 部品	単位 :	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント : グレード数デフォルト
部品、製品コード : B002	部品、製品名 : 部品002	種別 : 部品	単位 :	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント : グレード数デフォルト
部品、製品コード : S001	部品、製品名 : 製品001	種別 : (半)製品	単位 :	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント :
部品、製品コード : S002	部品、製品名 : 製品002	種別 : (半)製品	単位 :	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント :
部品、製品コード : B003	部品、製品名 :	種別 : 部品	単位 :	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント : 省略可能な項目は全て省略
部品、製品コード : B004	部品、製品名 : 部品004	種別 : 部品	単位 :	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント : 部品名指定
部品、製品コード : B005	部品、製品名 : 部品005	種別 : 部品	単位 : 個	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント : 単位指定
部品、製品コード : B006	部品、製品名 : 部品006	種別 : 部品	単位 : g	消費期限指定 : なし	在庫上限指定 : なし	在庫下限指定 : なし	コメント : 種別デフォルト (部品)
部品、製品コード : B007	部品、製品名 : 部品007	種別 : 部品	単位 : m				

印刷内容は

- ✧ 部品、製品コード
- ✧ 部品、製品名
- ✧ 種別 (部品／製品)
- ✧ 単位
- ✧ 消費期限設定の有無
- ✧ 上限値設定の有無及び上限値
- ✧ 下限値設定の有無及び下限値
- ✧ コメント

➤ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「部品、製品情報」をファイル出力します。

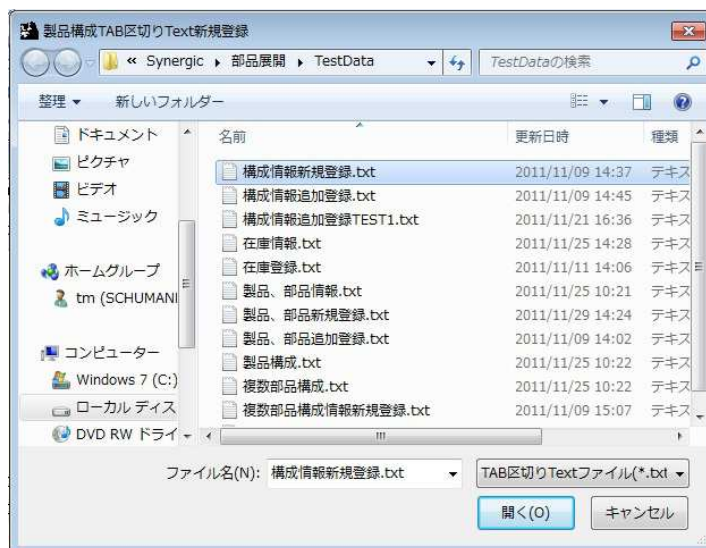
部品コード	部品名	単位	消費期限指定	在庫上限指定
3001	部品001	部品	なし	なし
B002	部品002	部品	なし	なし
S001	製品001	(半)製品	なし	なし
S002	製品002	(半)製品	なし	なし
B003	部品003	部品	なし	なし
B004	部品004	部品	なし	なし
B005	部品005	部品	なし	なし
B006	部品006	部品	なし	なし
B007	部品007	部品	なし	なし
B008	部品008	部品	なし	なし
B009	部品009	部品	なし	なし
B010	部品010	部品	あり	なし
B011	部品011	部品	あり	なし
B012	部品012	部品	あり	なし
B013	部品013	部品	あり	なし
B014	部品014	部品	あり	なし
B015	部品015	部品	あり	なし
B016	部品016	部品	あり	なし
B017	部品017	部品	あり	なし

出力内容は印刷内容と同様です。

5.3 構成メンテナンス

5.3.1 製品構成 TAB 区切り Text 新規登録

製品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより古い登録データを破棄し、新規に登録します。



☆ Text ファイルフォーマット

- 「//start」が現れるまではコメント行です。
- 「//end」以降はコメント行になります。
- 「//」で始まる行はどこに現れてもコメント行です。
- データ行の各フィールド定義は以下になり、それぞれのフィールドを TAB コードで区切ります。
 - 上位コード (必須)
部品、下位半製品を使用して製造される製品のコードを一つ指定します。
 - 下位コード (必須)
上位の製品を製造するのに必要な下位の部品、半製品のコードを一つ指定します。
 - 必要数 (必須)

上位の製品を製造するのに必要な下位の部品、半製品の数量を指定します。

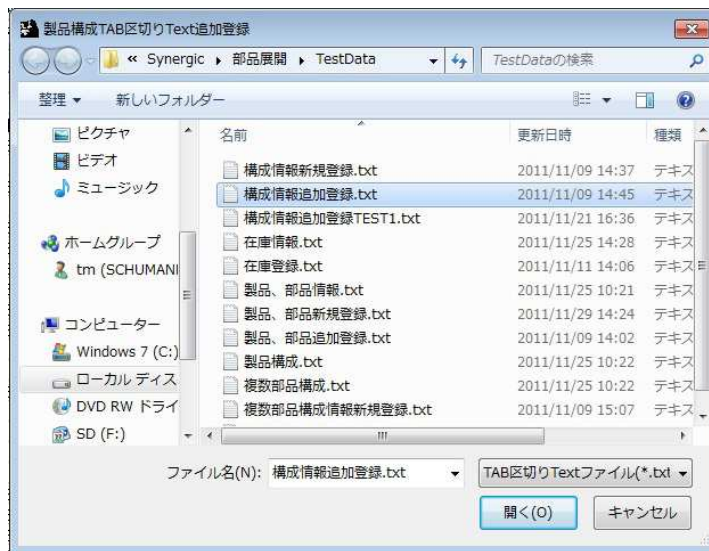
➤ コメント

コメントエリアです。

- 通常、一つの製品は複数の部品、下位半製品で構成されるため、複数行のデータにより一つの上位製品の構成が定義されます。
- Text ファイル内に上位、下位ともに同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。
- フォーマットの具体例は同封のサンプルデータを参照して下さい。

5.3.2 製品構成 TAB 区切り Text 追加登録

製品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより追加登録します。



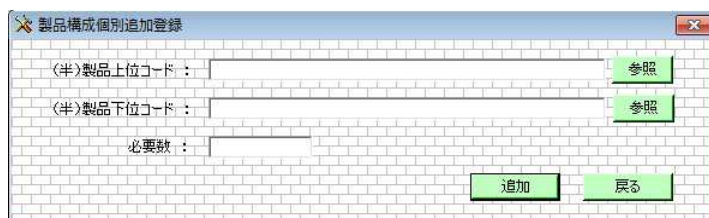
☆ Text ファイルフォーマット

製品構成 TAB 区切り Text 新規登録と同様です。

- Text ファイル内、及びデータベース内に上位、下位ともに同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。

5.3.3 製品構成 個別追加登録

製品構成を画面より追加登録します。



- 製品構成の上位コード、下位コード、下位部品、半製品の必要数を指定して「追加」ボタンをクリックして構成情報を追加登録します。
- データベース内に上位、下位ともに同一コードのデータが存在する場合、重複エラーとなります。
- 「(半) 製品上位コード」の欄にコードを入力しの一部を入力し、「参照」ボタンをクリックするとコードの中に入力した文字列が存在する部品、製品の一覧が表示されます。「(半) 製品上位コード」の欄に何も入力せずに、「参照」ボタンをクリックした場合、全ての部品、製品の一覧が表示されます。その中から上位コードを指定することも可能です。

部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
S004	製品004	(半)製品	
S005	製品005	(半)製品	個
S006	製品006	(半)製品	個
S007	製品007	(半)製品	個
S008	製品008	(半)製品	個
S009	製品009	(半)製品	個
S010	製品010	(半)製品	個
S011	製品011	(半)製品	個
S012	製品012	(半)製品	個
S013	製品013	(半)製品	個
S014	製品014	(半)製品	個
S015	製品015	(半)製品	個

戻る 選択 選択部品、製品コード : S010

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された部品、製品コードが「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。

対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

- 「(半) 製品下位コード」の欄にコードを入力しの一部を入力し、「参照」ボタンをクリックするとコードの中に入力した文字列が存在する部品、製品の一覧が表示されます。「(半) 製品下位コード」の欄の欄に何も入力せずに、「参照」ボタンをクリックした場合、全ての部品、製品の一覧が表示されます。その中から下位コードを指定することも可能です。

部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
B001	部品001	部品	
B002	部品002	部品	
B003		部品	
B004	部品004	部品	
B005	部品005	部品	個
B006	部品006	部品	€
B007	部品007	部品	m
B008	部品008	部品	個
B009	部品009	部品	個
B010	部品010	部品	個
B011	部品011	部品	個
B012	部品012	部品	個
B013	部品013	部品	個
B014	部品014	部品	個

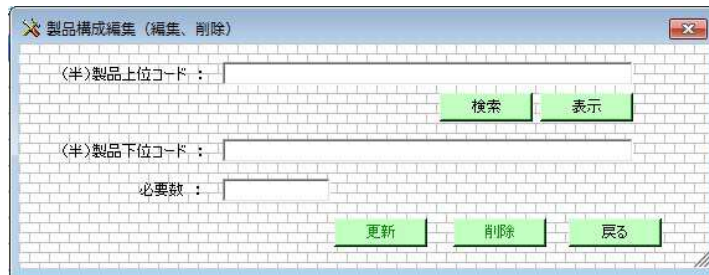
戻る 選択 選択部品、製品コード : B001

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された部品、製品コードが「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。

対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

5.3.4 製品構成 編集、削除

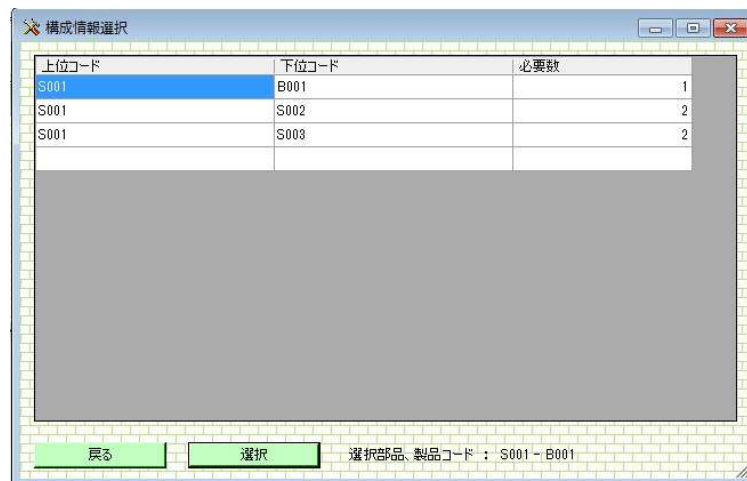
製品構成を画面から編集、削除します。



製品構成編集 (編集、削除) dialog box. It contains input fields for '(半)製品上位コード', '(半)製品下位コード', and '必要数'. There are buttons for '検索' (Search), '表示' (Display), '更新' (Update), '削除' (Delete), and '戻る' (Back).

➤ 編集或は削除する部品、製品を指定します。

- ✧ 指定方法は「(半) 製品上位コード」の欄に該当コードを入力し、「検索」ボタンをクリックします。一致するデータが存在する場合、該当データの製品構成情報の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。
- ✧ 又は、「(半) 製品上位コード」の欄にコードの一部を入力し、「表示」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が存在する製品構成情報の一覧が表示されます。「部品、製品コード」の欄に何も入力せずに、「表示」ボタンをクリックした場合、全ての製品構成情報の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。

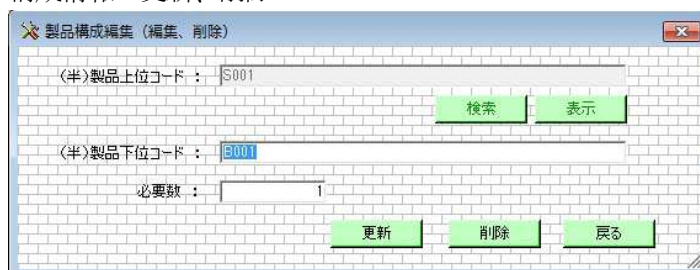


構成情報選択 dialog box. It displays a table with columns: 上位コード (Upper Code), 下位コード (Lower Code), and 必要数 (Required Quantity). Below the table are buttons for '戻る' (Back) and '選択' (Select). At the bottom, it shows '選択部品、製品コード : S001 - B001'.

上位コード	下位コード	必要数
S001	B001	1
S001	S002	2
S001	S003	2

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された構成情報が「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。
対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

➤ 構成情報の更新、削除



製品構成編集 (編集、削除) dialog box. The input fields are now populated: '(半)製品上位コード' is 'S001', '(半)製品下位コード' is 'B001', and '必要数' is '1'. The buttons remain the same.

選択されたデータの現在の情報が表示されます。

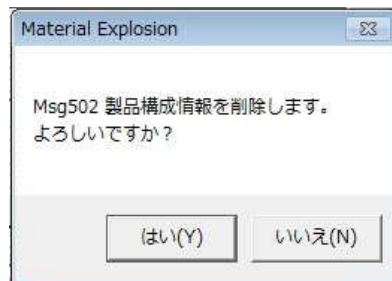
- ✧ 更新の場合、更新できるのは「下位コード」とその「必要数」です。更新データの入力が終了したら「更新」ボタンをクリックします。尚、必要数量の変更のみの場合を除いて、データベース内に上位、下位ともに同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。



確認メッセージが表示され「はい」をクリックすると構成情報が更新されます。



☆ 削除の場合、「削除」ボタンをクリックします。

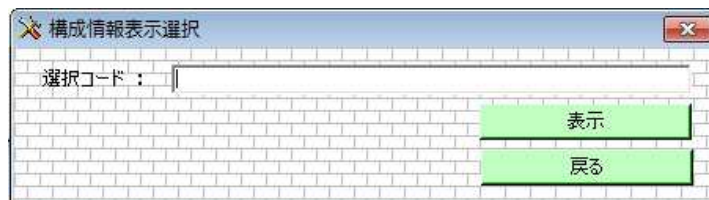


確認メッセージが表示され「はい」をクリックすると構成情報が削除されます。



5.3.5 製品構成 表示、印刷

製品構成を表示、印刷します。



➤ 表示、印刷する構成情報を指定します。

「選択コード」の欄に上位コードの一部を入力し、「表示」ボタンをクリックします。コードの中に
入力した文字列が存在する構成情報の一覧が表示されます。

「選択コード」の欄に何も入力せずに、「表示」ボタンをクリックした場合、全ての構成情報の一覧
が表示されます。

構成情報表示、印刷		
上位コード	下位コード	必要数
S001	B001	1
S001	S002	2
S001	S003	2
S002	S003	2
S002	S004	1
S002	B001	2
S002	B005	5
S003	B003	5
S003	B004	5
S004	B001	2
S004	B006	2
S010	S011	5
S010	S012	5
S010	B001	5
S010	S010	10

表示内容

- ✧ 上位コード
- ✧ 下位コード
- ✧ 必要数

➤ 印刷

「印刷」 ボタンをクリックすることにより「構成情報」を印刷します。

上位	下	S001	下位	B001	必要数	1
上位	下	S001	下位	S002	必要数	2
上位	下	S001	下位	S003	必要数	2
上位	下	S002	下位	S003	必要数	2
上位	下	S002	下位	S004	必要数	1
上位	下	S002	下位	B001	必要数	2
上位	下	S002	下位	B005	必要数	5
上位	下	S003	下位	B003	必要数	5
上位	下	S003	下位	B004	必要数	5
上位	下	S004	下位	B001	必要数	2
上位	下	S004	下位	B006	必要数	2
上位	下	S010	下位	S011	必要数	5
上位	下	S010	下位	S012	必要数	5
上位	下	S010	下位	B001	必要数	5
上位	下	S011	下位	S012	必要数	10
上位	下	S011	下位	B002	必要数	10
上位	下	S012	下位	B001	必要数	10
上位	下	S012	下位	B002	必要数	10
上位	下	S012	下位	B003	必要数	10
上位	下	S111	下位	B001	必要数	10
上位	下	S013	下位	B111	必要数	20
上位	下	B016	下位	B002	必要数	5
上位	下	S014	下位	S015	必要数	3
上位	下	S006	下位	S007	必要数	2
上位	下	S007	下位	S008	必要数	2
上位	下	S008	下位	B001	必要数	2
上位	下	S008	下位	B002	必要数	2
上位	下	S008	下位	S009	必要数	2
上位	下	S009	下位	S007	必要数	2

印刷内容

- ✧ 上位コード
- ✧ 下位コード
- ✧ 必要数

➤ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」 ボタンをクリックすることにより「構成情報」をファイル出力します。

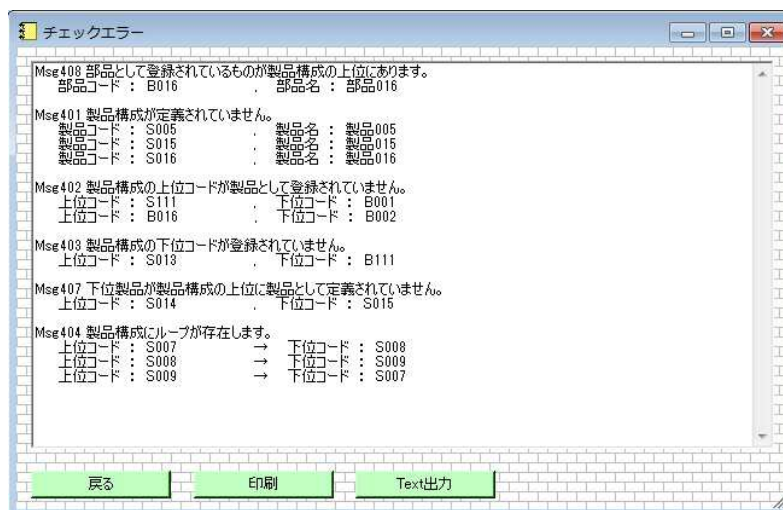


出力内容は印刷内容と同様です。

5.3.6 製品構成 構成チェック

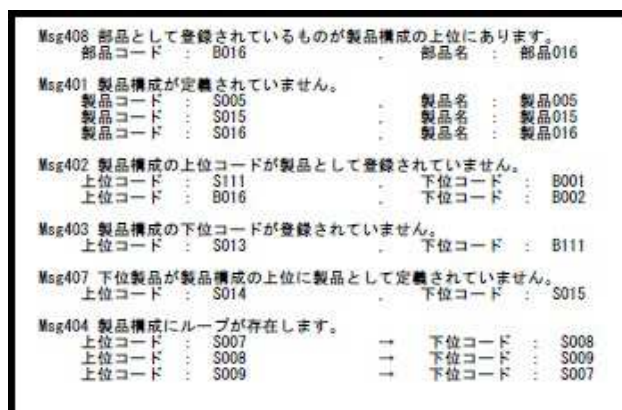
製品構成に間違いがないかどうかチェックします。

エラーが存在する場合、以下のようなメッセージが表示されます。



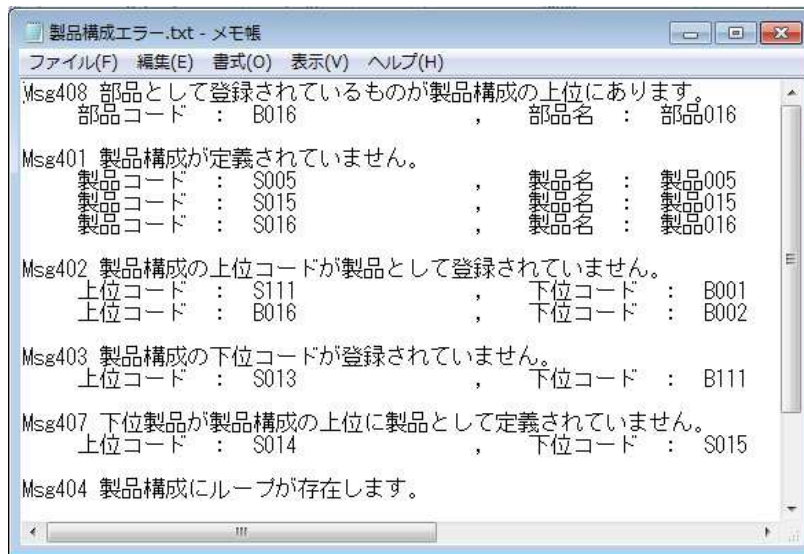
➤ 印刷

「印刷」 ボタンをクリックすることにより「製品構成エラー情報」を印刷します。



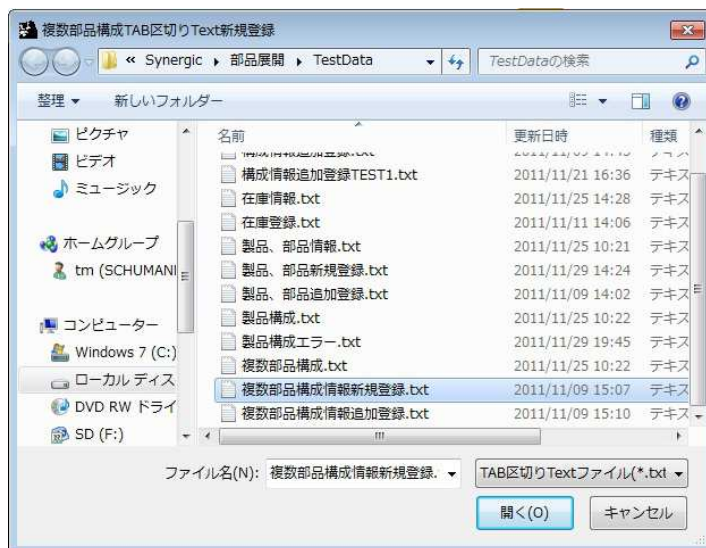
➤ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「製品構成エラー情報」をファイル出力します。



5.3.7 複数部品構成 TAB 区切り Text 新規登録

複数部品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより古い登録データを破棄し、新規に登録します。



☆ Text ファイルフォーマット

- 「//start」が現れるまではコメント行です。
- 「//end」以降はコメント行になります。
- 「//」で始まる行はどこに現れてもコメント行です。
- データ行の各フィールド定義は以下のようになり、それぞれのフィールドを TAB コードで区切ります。
 - 親コード (必須)
子部品を製造する原材料の部品、製品のコードを一つ指定します。
 - 子コード (必須)
親から製造される子部品のコードを一つ指定します。これは部品でなければなりません。
 - 製造数 (必須)

一つの親から製造される子部品の数量を指定します。

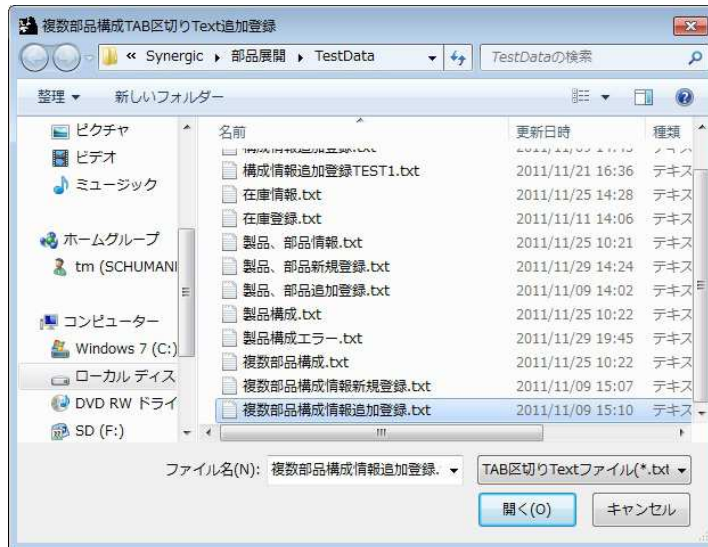
➤ コメント

コメントエリアです。

- 通常、一つの親から複数個の子部品が製造されます。
- Text ファイル内に親、子ともに同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。
- フォーマットの具体例は同封のサンプルデータを参照して下さい。

5.3.8 複数部品構成 TAB 区切り Text 追加登録

複数部品構成を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより追加登録します。



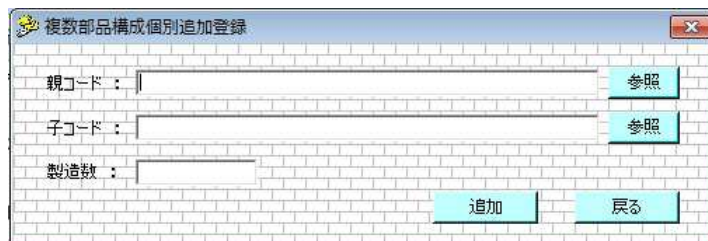
☆ Text ファイルフォーマット

複数部品構成 TAB 区切り Text 新規登録と同様です。

- Text ファイル内、及びデータベース内に親、子ともに同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。

5.3.9 複数部品構成 個別追加登録

複数部品構成を画面より追加登録します。



- 複数部品構成の親コード、子コード、子部品の製造数を指定して「追加」ボタンをクリックして複数部品構成情報を追加登録します。
- データベース内に親、子ともに同一コードが存在する場合、重複エラーとなります。
- 親コードにコードを入力しの一部を入力し、「参照」ボタンをクリックするとコードの中に入力した文字列が存在する部品、製品の一覧が表示されます。「親コード」の欄に何も入力せずに、「参照」ボタンをクリックした場合、全ての部品、製品の一覧が表示されます。その中から親コードを指定することも可能です。

部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
B001	部品001	部品	個
B002	部品002	部品	個
S001	製品001	〈半〉製品	
S002	製品002	〈半〉製品	
B003		部品	
B004	部品004	部品	
B005	部品005	部品	個
B006	部品006	部品	個
B007	部品007	部品	m
B008	部品008	部品	個
B009	部品009	部品	個
B010	部品010	部品	個
B011	部品011	部品	個
B012	部品012	部品	個

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された部品、製品コードが「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。

対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

- 子コードにコードを入力しの一部を入力し、「参照」ボタンをクリックするとコードの中に入力した文字列が存在する部品、製品の一覧が表示されます。「部品、製品コード」の欄に何も入力せずに、「参照」ボタンをクリックした場合、全ての部品、製品の一覧が表示されます。その中から子コードを指定することも可能です。

部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
B001	部品001	部品	
B002	部品002	部品	
B003		部品	
B004	部品004	部品	
B005	部品005	部品	個
B006	部品006	部品	個
B007	部品007	部品	m
B008	部品008	部品	個
B009	部品009	部品	個
B010	部品010	部品	個
B011	部品011	部品	個
B012	部品012	部品	個
B013	部品013	部品	個
B014	部品014	部品	個

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された部品、製品コードが「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。

対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

5.3.10 複数部品構成 編集、削除

複数部品構成を画面から編集、削除します。

親コード : 参照

子コード : 参照

製造数 :

更新 削除 戻る

➤ 編集或は削除する部品、製品を指定します。

- ✧ 指定方法は「親コード」の欄にコードの一部を入力し、「参照」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が親コードに存在する複数部品構成情報の一覧が表示されます。「親コード」の欄に何も入力せずに、「参照」ボタンをクリックした場合、全ての複数部品構成の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。
- ✧ 又は「子コード」の欄にコードの一部を入力し、「参照」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が子コードに存在する複数部品構成情報の一覧が表示されます。「子コード」の欄に何も入力せずに、「参照」ボタンをクリックした場合、全ての複数部品構成の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。

親コード	子コード	製造数
B003	B004	5
B003	B005	10
B004	B006	20
B007	B008	30
B009	B010	10
B012	B013	20
B001	S001	10
B006	B003	10
B005	B003	10

戻る 選択 選択コード : B003-B004

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された複数部品構成情報が「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。

対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

➤ 複数部品構成情報の更新、削除

親コード : B003 参照

子コード : B004 参照

製造数 : 5

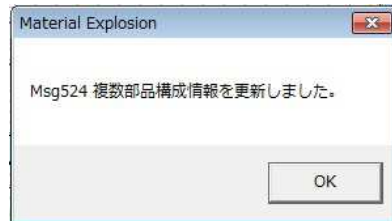
更新 削除 戻る

選択されたデータの現在の情報が表示されます。

- ✧ 更新の場合、更新できるのは「製造数」です。更新データの入力が終了したら「更新」ボタンをクリックします。



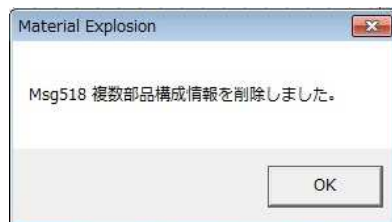
確認メッセージが表示され「はい」をクリックすると複数部品構成情報が更新されます。



✧ 削除の場合、「削除」ボタンをクリックします。



確認メッセージが表示され「はい」をクリックすると複数部品構成情報が削除されます。



5.3.11 複数部品構成 表示、印刷

複数部品構成を表示、印刷します。

- 表示、印刷する複数部品構成情報を指定します。
「親コード」又は「子コード」の欄にコードの一部を入力し、「表示」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が存在する複数部品構成情報の一覧が表示されます。両方のコードの欄に入力した場合、双方の文字列が親子の中に一致するものが表示されます。両方のコードの欄に何も入力せずに、「表示」ボタンをクリックした場合、全ての複数部品構成情報の一覧が表示されます。

親コード	子コード	製造数
B003	B004	5
B003	B005	10
B004	B006	20
B007	B008	30
B009	B010	10
B012	B013	20
B001	S001	10
B006	B003	10
B005	B003	10

表示内容

- ◇ 親コード
- ◇ 子コード
- ◇ 製造数

- 印刷

「印刷」ボタンをクリックすることにより「複数部品構成情報」を印刷します。

```

**** 複数部品構成表 ****
親コード      B003      *      子コード      B004      *      製造数      5
親コード      B003      *      子コード      B005      *      製造数      10
親コード      B004      *      子コード      B006      *      製造数      20
親コード      B007      *      子コード      B008      *      製造数      30
親コード      B009      *      子コード      B010      *      製造数      10
親コード      B012      *      子コード      B013      *      製造数      20
親コード      B001      *      子コード      S001      *      製造数      10
親コード      B006      *      子コード      B003      *      製造数      10
親コード      B005      *      子コード      B003      *      製造数      10
  
```

印刷内容

- ◇ 親コード
- ◇ 子コード
- ◇ 製造数

➤ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」 ボタンをクリックすることにより「複数部品構成情報」をファイル出力します。

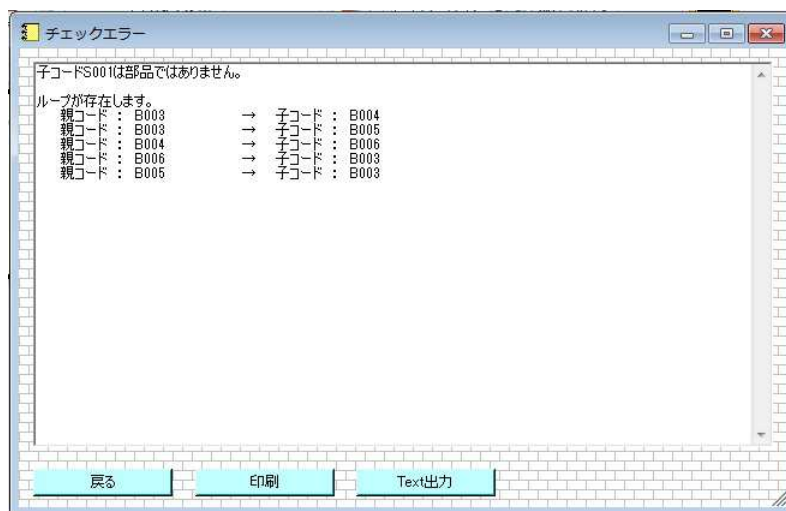


出力内容は印刷内容と同様です。

5.3.12 複数部品構成 構成チェック

複数部品構成に間違いがないかどうかチェックします。

エラーが存在する場合、以下のようなメッセージが表示されます。



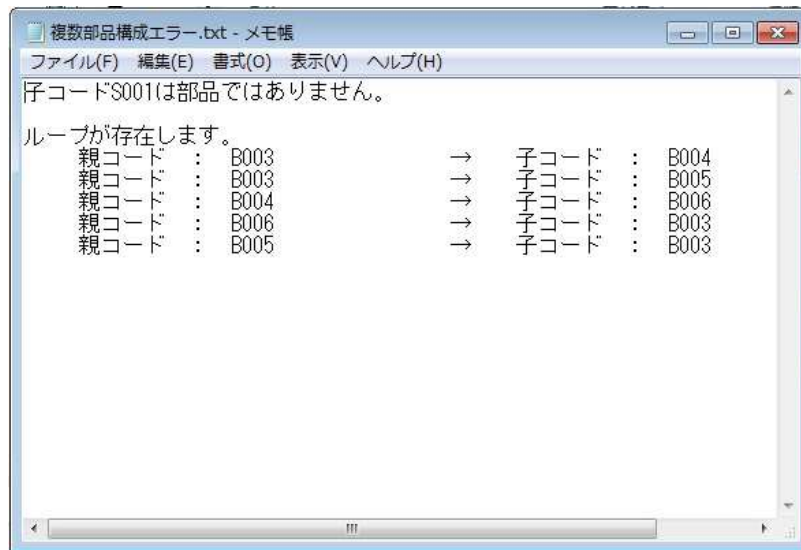
➤ 印刷

「印刷」 ボタンをクリックすることにより「複数部品構成エラー情報」を印刷します。



➤ TAB 区切り Text 出力

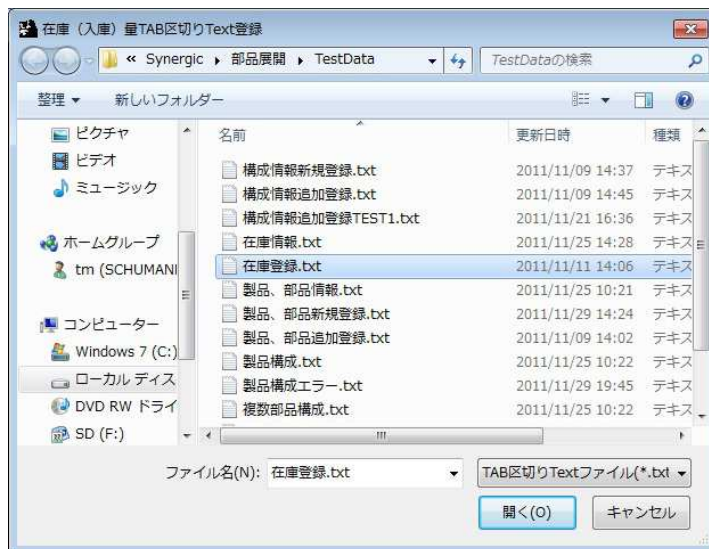
「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「複数部品構成エラー情報」をファイル出力します。



5.4 在庫管理

5.4.1 在庫（入庫）量 TAB 区切り Text 登録

在庫量を TAB 区切り形式の Text ファイルを読み込むことにより入庫します。



☆ Text ファイルフォーマット

- 「//start」が現れるまではコメント行です。
- 「//end」以降はコメント行になります。
- 「//」で始まる行はどこに現れてもコメント行です。
- データ行の各フィールド定義は以下のようになり、それぞれのフィールドを TAB コードで区切ります。
 - コード（必須）
入庫する部品、製品のコードを指定します。部品、製品として登録されていないコードの場合はエラーとなります。
 - グレード（必須）
入庫する部品、製品のグレードを指定します。登録されている部品、製品のグレードの範囲外の場合、エラーとなります。
 - 入庫日

入庫日を「yyyy/mm/dd」の形式で指定します。省略した場合、操作している当日が入庫日となります。

- 入庫量
入庫する数量を指定します。
- 消費期限
登録されている部品、製品に消費期限が設定されている場合、yyyy/mm/dd」の形式で指定します。省略した場合、データベース定義で設定したデフォルト値を入庫日に加算した日になります。
- コメント
コメントエリアです。
- フォーマットの具体例は同封のサンプルデータを参照して下さい。

5.4.2 在庫情報表示、印刷

在庫情報を表示、印刷します。

- 表示する在庫情報の条件を指定します。それぞれの条件はANDによって結ばれ、対象データを抽出します。
 - ◇ 製品、部品指定
 - 製品のみ
対象を製品のみとします。
 - 部品のみ
対象を部品のみにとします。
 - 全て対象
全てを対象とします。
 - ◇ 部品、製品コード
 - コードを含む
コード入力欄にコードが指定された場合、そのコードを含むものを対象とします。
 - コードが一致
コード入力欄にコードが指定された場合、そのコードと一致するものを対象とします。
 - コード未入力の場合、「コードを含む」、「コードが一致」の指定は無視されます。
 - ◇ グレード
グレードが指定された場合、そのグレード以下 (グレード値が少ない) のものを対象とします。グレード値が指定されていない場合、全ての在庫を対象とします。

- ✧ 製造（入庫）日
 - From
 - 指定する
指定された日付以降に製造（入庫）されたものを対象とします。
 - 指定しない
製造（入庫）日の From 日付は考慮しません。
 - To
 - 指定する
指定された日付以前に製造（入庫）されたものを対象とします。
 - 指定しない
製造（入庫）日の To 日付は考慮しません。
- ✧ 在庫量限界
 - 指定なし
在庫量の多さは考慮しません。
 - 上限越え
在庫量上限値が設定されていて、在庫量が上限を超えるものを対象とします。
 - 下限未満
在庫量下限値が設定されていて、在庫量が下限を未満のものを対象とします。
 - 限界内
 - 在庫量上限値、在庫量下限値がともに設定されてない。
 - 在庫量上限値は設定されていなく、在庫量下限値が設定されていて、在庫量が下限値以上。
 - 在庫量上限値が設定されていて、在庫量は上限値以下で、在庫量下限値は設定されていない。
 - 在庫量上限値、在庫量下限値ともに設定されていて、在庫量がその範囲以内。
のものを対象とします。
- ✧ 消費期限
 - From
 - 指定する
消費期限が設定されていて、消費期限が指定された日付以降のものを対象とします。
 - 指定しない
消費期限の From 日付は考慮しません。
 - To
 - 指定する
消費期限が設定されていて、消費期限が指定された日付以前のものを対象とします。
 - 指定しない
消費期限の To 日付は考慮しません。
 - 両方指定されていない場合は消費期限設定の有無は考慮しません。
- 全ての条件設定が完了し、「表示」ボタンをクリックすると該当の在庫情報が表示されます。尚、「クリア」ボタンをクリックすると全ての条件が初期化されます。

在庫表示

製品、部品コード:指定なし
製品、部品指定:指定なし 製造(入庫)日:指定しない
消費期限:指定しない 在庫限界:指定しない
グレード:全て

部品、製品コード	部品、製品名	在庫下限値	在庫上限値	在庫量
B012	部品012	---	---	10個
B013	部品013	---	2,000個	20個
B014	部品014	---	3,000個	20個
B015	部品015	---	4,000個	10,000個
B017	部品017	300個	6,000個	10,000個
B018	部品018	400個	7,000個	10,000個
SX011	製品X011	10個	100個	12個
SX012	製品X012	10個	200個	20個
BX001	部品X001	10個	100個	20個
BX002	部品X002	10個	300個	30個

戻る 印刷 TAB区切りText出力

表示内容

◇ 検索条件

- 製品、部品コード
- 製品、部品指定
- 消費期限
- グレード
- 製造(入庫)日
- 在庫限界

◇ 該当データ

- 部品、製品コード
- 部分、製品名
- 在庫下限値
- 在庫上限値
- 在庫量

➤ 印刷

「印刷」ボタンをクリックすることにより「在庫情報」を印刷します。

在庫情報

製品、部品指定:指定なし
製品、部品コード:指定なし
グレード:全て
製造(入庫)日:指定しない
消費期限:指定しない

部品、製品コード : B001	部品、製品名 : 部品001	在庫量 : 2,000,000,000
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B002	部品、製品名 : 部品002	在庫量 : 10,005
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : S001	部品、製品名 : 製品001	在庫量 : 4
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B003	部品、製品名 : 部品003	在庫量 : 10,000
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B004	部品、製品名 : 部品004	在庫量 : 10,000
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B005	部品、製品名 : 部品005	在庫量 : 10,070
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B006	部品、製品名 : 部品006	在庫量 : 11,000
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B010	部品、製品名 : 部品010	在庫量 : 25
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B011	部品、製品名 : 部品011	在庫量 : 640
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B012	部品、製品名 : 部品012	在庫量 : 10
下限値 : ---	上限値 : 2,000	
部品、製品コード : B013	部品、製品名 : 部品013	在庫量 : 20
下限値 : ---	上限値 : ---	
部品、製品コード : B014	部品、製品名 : 部品014	

印刷内容

◇ 検索条件

- 製品、部品指定

- 製品、部品コード
- グレード
- 製造（入庫）日
- 消費期限

☆ 該当データ

- 部品、製品コード
- 部品、製品名
- 下限値
- 上限値
- 在庫量

➤ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「在庫情報」をファイル出力します。

File Name	Menu	Edit	Format	View	Help
3001	部品001			2000000000	
B002	部品002			10005	
S001	製品001			4	
B003				10000	
B004	部品004			10000	
B005	部品005			10070	
B006	部品006			11000	
B010	部品010			25	
B011	部品011			640	
B012	部品012			10	
B013	部品013	2000		20	
B014	部品014	3000		20	
B015	部品015	4000		10000	
B017	部品017 300	6000		10000	
B018	部品018 400	7000		10000	
SX011	製品X011	10		100	12
SX012	製品X012	10		200	20
BX001	部品X001	10		100	20
BX002	部品X002	10		300	30

出力内容は印刷内容の該当データと同様です。

5.4.3 在庫情報メンテナンス

在庫の存在する部品、製品の在庫情報を画面よりメンテナンスします。

- メンテナンスする在庫情報の条件を指定します。それぞれの条件はANDによって結ばれ、対象データを抽出します。

- ◇ 製品、部品指定

- 製品のみ
対象を製品のみとします。
- 部品のみ
対象を部品のみにとします。
- 全て対象
全てを対象とします。

- ◇ 部品、製品コード

- コードを含む
コード入力欄にコードが指定された場合、そのコードを含むものを対象とします。
- コードが一致
コード入力欄にコードが指定された場合、そのコードと一致するものを対象とします。
- コード未入力の場合、「コードを含む」、「コードが一致」の指定は無視されます。

- ◇ グレード

グレードが指定された場合、そのグレード以下（グレード値が少ない）のものを対象とします。グレード値が指定されていない場合、全ての在庫を対象とします。

- ◇ 製造（入庫）日

- From
 - 指定する
指定された日付以降に製造（入庫）されたものを対象とします。
 - 指定しない
製造（入庫）日の From 日付は考慮しません。
- To
 - 指定する
指定された日付以前に製造（入庫）されたものを対象とします。
 - 指定しない
製造（入庫）日の To 日付は考慮しません。

- ◇ 在庫量限界

- 指定なし
在庫量の多さは考慮しません。
- 上限越え
在庫量上限値が設定されていて、在庫量が上限を超えるものを対象とします。
- 下限未満
在庫量下限値が設定されていて、在庫量が下限を未満のものを対象とします。
- 限界内
 - 在庫量上限値、在庫量下限値がともに設定されてない。
 - 在庫量上限値は設定されていなく、在庫量下限値が設定されていて、在庫量が下限値以上。
 - 在庫量上限値が設定されていて、在庫量は上限値以下で、在庫量下限値は設定されていない。
 - 在庫量上限値、在庫量下限値ともに設定されていて、在庫量がその範囲以内。
のものを対象とします。

☆ 消費期限

- From
 - 指定する
消費期限が設定されていて、消費期限が指定された日付以降のものを対象とします。
 - 指定しない
消費期限の From 日付は考慮しません。
- To
 - 指定する
消費期限が設定されていて、消費期限が指定された日付以前のものを対象とします。
 - 指定しない
消費期限の To 日付は考慮しません。
- 両方指定されていない場合は消費期限設定の有無は考慮しません。
- 全ての条件設定が完了し、「表示」ボタンをクリックすると該当の在庫情報が表示されます。尚、「クリア」ボタンをクリックすると全ての条件が初期化されます

在庫量更新

製品、部品コード: 指定なし
製品、部品指定: 指定なし 製造(入庫)日: 指定しない
消費期限: 指定しない 在庫量限界: 指定しない
グレード: 全て

部品、製品コード	部品、製品名	グレード	ロットNo.	入庫日	消費期限	在庫量
B011	部品011	1	22	2011/11/16	2011/11/17	10
B011	部品011	1	23	2011/11/17	2011/11/17	10
B011	部品011	1	26	2011/11/19	2012/11/18	10
B011	部品011	1	27	2011/11/19	2012/11/18	10
B012	部品012	1	29	2011/11/22	2012/11/21	10
B013	部品013	1	30	2011/11/22	2012/11/18	20
B014	部品014	1	12	2011/11/15	2012/11/14	10
B014	部品014	2	13	2011/11/15	2012/11/14	10
B015	部品015	1	52	2011/11/24	2012/11/23	10000
B017	部品017	1	55	2011/11/24	2012/11/23	9000

戻る 更新 個別メンテナンス 選択ロットNo.: 52

- 更新
在庫量を修正し、「更新」ボタンをクリックします。複数のロットの在庫量を修正して一気に更新することも可能です。
- 個別メンテナンス
それぞれのロットの在庫をグレード別に細分化することができます。該当の在庫をクリックすると「個別メンテナンス」ボタンの横に選択ロットNo.が表示されます。その状態で「個別メンテナンス」ボタンをクリックします。

在庫個別メンテナンス

製品、部品コード: B016
 製品、部品名: 部品016
 ロットNo: 52
 グレード: 1

グレード	在庫数量	入庫日	消費期限
1	9000	2011/11/24	2012/11/23
2	500	2011/11/25	2012/11/23
3	500	2011/11/25	2012/11/23
4	0	2011/11/24	2012/11/23
5	0	2011/11/24	2012/11/23

戻る 更新

初期状態では当初のグレードに全ての在庫数量が記載されています。
 その値を必要に応じてそれぞれのグレードに振り分けることができます。
 また、入庫日を変更することもでき、消費期限が設定されている場合は、それも変更できます。
 全ての変更が終わりましたら「更新」ボタンをクリックします。

5.4.4 在庫なしデータ表示、印刷

在庫のない部品、製品の情報を表示、印刷します。

在庫なしデータ表示、印刷選択

製品、部品指定
☐ 製品のみ ☐ 部品のみ ☒ 全て対象

在庫なし種別
☒ トータル ☐ グレード毎

部品、製品コード
☐ コードを含む ☒ コードが一致

消費期限
☐ 指定 ☐ 未指定 ☒ 全て対象

表示 クリア 戻る

- 表示する在庫情報の条件を指定します。それぞれの条件はANDによって結ばれ、対象データを抽出します。
 - ✧ 製品、部品指定
 - 製品のみ
対象を製品のみとします。
 - 部品のみ
対象を部品のみとします。
 - 全て対象
全てを対象とします。
 - ✧ 在庫なし種別
 - トータル
全てのグレードのトータルで在庫が無いものを対象とします。
 - グレード毎
他のグレードには在庫がある場合でも、在庫のないグレードは対象とします。
 - ✧ 部品、製品コード
 - コードを含む
コード入力欄にコードが指定された場合、そのコードを含むものを対象とします。

- コードが一致
コード入力欄にコードが指定された場合、そのコードと一致するものを対象とします。
- コード未入力の場合、「コードを含む」、「コードが一致」の指定は無視されます。

☆ 消費期限

- 指定
消費期限が指定されている部品、製品を対象とします。
- 未指定
消費期限が指定されていない部品、製品を対象とします。
- 全て対象
消費期限が指定、未指定は考慮しません。

- 全ての条件設定が完了し、「表示」ボタンをクリックすると該当データが表示されます。尚、「クリア」ボタンをクリックすると全ての条件が初期化されます。

在庫なしデータ表示、印刷

製品、部品指定: 全て対象 在庫なし種別: グレード毎 消費期限: 全て対象

部品、製品コード: 指定なし

コード	名称	種別	グレード
B001	部品001	部品	3
B002	部品002	部品	3
S002	製品002	〈半〉製品	1
S002	製品002	〈半〉製品	2
B003		部品	2
B003		部品	3
B004	部品004	部品	2
B004	部品004	部品	3
B006	部品006	部品	3
B007	部品007	部品	1
B007	部品007	部品	2
B007	部品007	部品	3

戻る 印刷 TAB区切りText出力

表示内容

☆ 検索条件

- 製品、部品指定
- 在庫なし種別
- 消費期限
- 部品、製品コード指定

☆ 該当データ

- 部品、製品コード
- 部品、製品名
- 種別（部品、製品）
- グレード

➤ 印刷

「印刷」 ボタンをクリックすることにより「在庫なし情報」を印刷します。

在庫なしデータ			
製品、部品指定：全て対象			
在庫なし種別：グレード毎			
消費期限：全て対象			
部品、製品コード：指定なし			
部品、製品コード	： B001	部品、製品名	： 部品001
種別	： 部品	グレード	： 3
部品、製品コード	： B002	部品、製品名	： 部品002
種別	： 部品	グレード	： 3
部品、製品コード	： S002	部品、製品名	： 製品002
種別	： (半)製品	グレード	： 1
部品、製品コード	： S002	部品、製品名	： 製品002
種別	： (半)製品	グレード	： 2
部品、製品コード	： B003	部品、製品名	：
種別	： 部品	グレード	： 2
部品、製品コード	： B003	部品、製品名	：
種別	： 部品	グレード	： 3
部品、製品コード	： B004	部品、製品名	： 部品004
種別	： 部品	グレード	： 2
部品、製品コード	： B004	部品、製品名	： 部品004
種別	： 部品	グレード	： 3
部品、製品コード	： B006	部品、製品名	： 部品006
種別	： 部品	グレード	： 3
部品、製品コード	： B007	部品、製品名	： 部品007
種別	： 部品	グレード	： 1
部品、製品コード	： B007	部品、製品名	： 部品007
種別	： 部品	グレード	： 2
部品、製品コード	： B007	部品、製品名	： 部品007
種別	： 部品	グレード	： 3

印刷内容

✧ 検索条件

- 製品、部品指定
- 在庫なし種別
- 消費期限
- 部品、製品コード指定

✧ 該当データ

- 部品、製品コード
- 部品、製品名
- 種別 (部品、製品)
- グレード

➤ TAB 区切り Text 出力

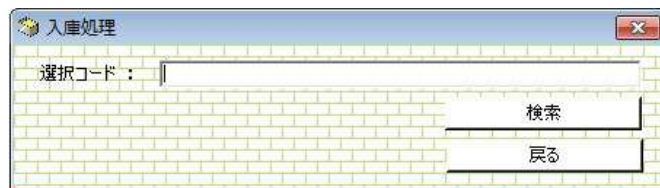
「TAB 区切り Text 出力」 ボタンをクリックすることにより「在庫なし情報」をファイル出力します。

在庫なしTAB.txt - メモ帳				
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)				
B001	部品001	部品	3	
B002	部品002	部品	3	
S002	製品002	(半)製品	1	
S002	製品002	(半)製品	2	
B003		部品	2	
B003		部品	3	
B004	部品004	部品	2	
B004	部品004	部品	3	
B006	部品006	部品	3	
B007	部品007	部品	1	
B007	部品007	部品	2	
B007	部品007	部品	3	
B008	部品008	部品	1	
B008	部品008	部品	2	
B008	部品008	部品	3	
B009	部品009	部品	1	
B009	部品009	部品	2	
B009	部品009	部品	3	
B010	部品010	部品	3	

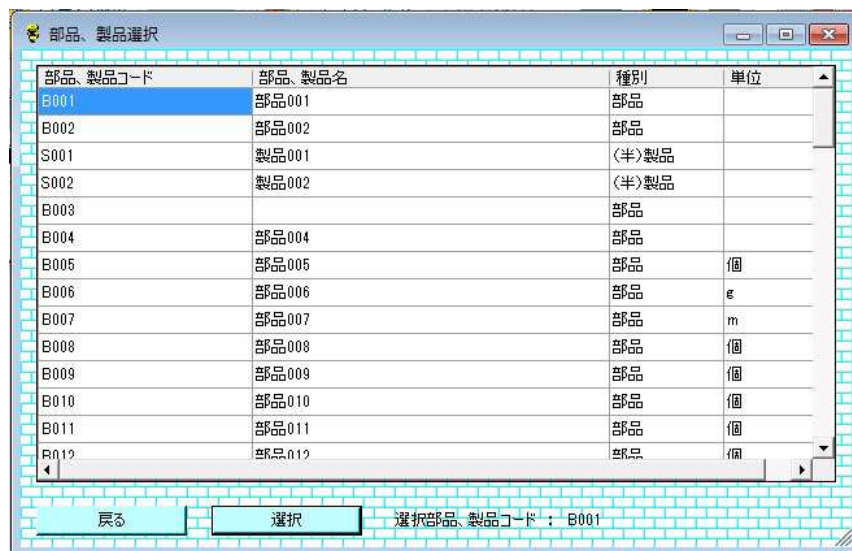
出力内容は印刷内容の該当データと同様です。

5.4.5 入庫処理

製品、部品を画面より入庫します。



- 入庫する部品、製品を指定します。
 - ✧ 指定方法は「選択コード」の欄にコードの全部、又は一部を入力し、「検索」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が存在する該当データの部品、製品一覧が表示されます。何も入力せずに、「検索」ボタンをクリックした場合、全ての部品、製品の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。



部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
B001	部品001	部品	
B002	部品002	部品	
S001	製品001	〈半〉製品	
S002	製品002	〈半〉製品	
B003		部品	
B004	部品004	部品	
B005	部品005	部品	個
B006	部品006	部品	g
B007	部品007	部品	m
B008	部品008	部品	個
B009	部品009	部品	個
B010	部品010	部品	個
B011	部品011	部品	個
B012	部品012	部品	個

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択されたコードが「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。
対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。



入庫量、グレード、入庫日、及び消費期限の設定があれば消費期限を設定し、「入庫」ボタンをクリックして入庫します。

5.5 製品展開、製造、エクスポート

5.5.1 製品展開、製造

製品の構成を展開し、製品を製造します。

製造時には、使用した部品、下位製品の在庫量の減算、製造製品の在庫量の加算を行います。

製品コード : 検索 表示

製品名 :

単位 :

コメント :

使用品消費期限
☐ 期限内 ☐ 期限外 ☒ 指定なし

使用品グレード
☐ 範囲 ☒ 個別 グレード指定:

消費期限到達順序
☐ 古い順 ☐ 若い順 ☒ 指定なし

製造製品グレード指定:

製造製品消費期限: 2011年11月30日

製造方式
☒ 一次階層 ☐ 全階層

製造日付: 2011年11月30日 展開 戻る

➤ 製造する製品を指定します。

- ✧ 指定方法は「製品コード」の欄に該当コードを入力し、「検索」ボタンをクリックします。一致するデータが存在する場合、該当データの製品情報が表示されます。
- ✧ 又は、「製品コード」の欄にコードの一部を入力し、「表示」ボタンをクリックします。コードの中に入力した文字列が存在する製品構成情報の一覧が表示されます。「製品コード」の欄に何も入力せずに、「表示」ボタンをクリックした場合、全ての製品の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。

部品、製品コード	部品、製品名	種別	単位
S001	製品001	〈半〉製品	
S002	製品002	〈半〉製品	
S003		〈半〉製品	
S004	製品004	〈半〉製品	
S005	製品005	〈半〉製品	個
S006	製品006	〈半〉製品	個
S007	製品007	〈半〉製品	個
S008	製品008	〈半〉製品	個
S009	製品009	〈半〉製品	個
S010	製品010	〈半〉製品	個
S011	製品011	〈半〉製品	個
S012	製品012	〈半〉製品	個
S013	製品013	〈半〉製品	個
S014	製品014	〈半〉製品	個

戻る 選択 選択部品、製品コード : S001

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択されたコードが「選択」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。

対象が決まりましたら「戻る」ボタンをクリックして戻ります。

- 使用品に対する条件を設定します。
 - 使用品消費期限

使用する親製品、部品に消費期限が指定されている場合、消費期限の条件を指定します。

 - ◇ 期限内

製造（入庫）日が消費期限内のロットのみを使用します。
 - ◇ 期限外

製造（入庫）日が消費期限を過ぎたロットのみを使用します。
 - ◇ 指定なし

消費期限は考慮しません。
 - 使用品グレード
 - ◇ 範囲

グレードの範囲を指定します。例えば「3」を指定した場合、使用するグレードは1～3になります。
 - ◇ 個別

グレードを個別に指定します。例えば「3」を指定した場合、使用するグレードは3のみになります。
 - ◇ グレード指定値が空白

全てのグレードを使用の対象とします。
 - 消費期限到達順序

使用する親製品、部品に消費期限が指定されている場合、消費期限到達順序の条件を指定します。

 - ◇ 古い順

消費期限の到達順序が古いロットから使用します。
 - ◇ 若い順

消費期限の到達順序が若いロットから使用します。
 - ◇ 指定なし

消費期限の到達順序は考慮しません。
- 製造製品に対する条件を設定します。
 - 製造製品グレード指定

製造する製品のグレードを指定します
 - 製造製品消費期限

消費期限が指定されている製品を製造する場合は消費期限を指定します。
 - 製造日付

製造日付を指定します。

尚、この日付より新しい日付の在庫ロットは製造時に存在していないことになりますので、製造に使用するロットの対象から外れます。

- 製造方式を指定します。

- 1次階層

製造する製品を構成する1次階層の部品、半製品の在庫が足りている場合のみ製造する場合はこちらを指定します。

- 全階層

製造する製品を構成する1次階層の部品、半製品の在庫が足りない場合でも下位を製造して最上位を製造する場合はこちらを指定します。

☆ 上記条件の設定が完了したら「展開」ボタンをクリックして製品を展開します。



☆ 製造

製造数量を入力して「製造」ボタンをクリックします。

- 1次階層での製造

製造する製品を構成する1次階層の部品、半製品の在庫が足りている場合のみ製造する場合はこちらになります。

この場合、下位の半製品の在庫が不足していても、その下位製品を製造する更に下位の部品、半製品の在庫量が足りていて、それらを製造すれば指定製品の製造が可能な場合でも製造は不可能という処理結果になります。

実際の製造工程では、最上位製品を作る場合に下位の半製品の在庫が不足している場合、その場で下位の半製品を製造して、最上位を製造するというケースは少なく、通常は一旦最上位の製造を中止し、下位の半製品を先に製造して在庫量を確認してから最上位を製造すると思われますので、こちらのケースでの製造が大半と思われます。



在庫が足りて製造が可能な場合、製造の確認メッセージが表示されます。

➤ 製造指図書

製造を行った場合、製造指図書が表示されます。

また、製造を行った場合、使用した下位の部品、半製品の在庫は使用した分減算され、製造した製品の在庫は製造した分加算されます。

製造指図書

製造品情報
 製品コード: S001
 名称: 製品001
 ロットNo.: 81 グレード: 1 製造数量: 1
 消費期限: 消費期限なし 製造日: 2011/12/1

構成品情報

コード	名称	使用数量(単一)	使用数量(合計)	グレード	消費期限
B001	部品001	1	1	1	全て 期限なし
S002	製品002	20	20	1	全て 期限なし
S003	製品003	2	2	1	全て 期限なし
B017	部品017	2	2	2	全て 指定なし
S016	製品016	2	2	2	全て 指定なし

使用品情報

コード	名称	ロットNo.	使用数量(合計)	グレード	消費期限
B001	部品001	6	1	1	1 期限なし
S002	製品002	58	20	1	1 期限なし
S003	製品003	59	2	1	1 期限なし
B017	部品017	55	2	2	1 2012/11/23 0:0...
S016	製品016	60	2	2	1 2012/11/30 19:...

印刷 Textファイル出力 戻る

表示内容

◇ 製造品情報

製造した製品の情報

- 製品コード
製造した製品の製品コード
- 名称
製造した製品の名称
- ロット No.
製造 (入庫) ロット No.
- 消費期限
消費期限の指定がある製品を製造した場合、その消費期限
- グレード
製造した製品のグレード
- 製造日
製品の製造日付
- 製造数量
製造した数量

◇ 構成品情報

製造した製品を構成する 1 次階層の部品、半製品情報

- コード
使用する部品、半製品のコード
- 名称
使用する部品、半製品の名称
- 使用数量 (単一)
製品を一つ製造する際に必要な部品、半製品の数量
- 使用数量 (合計)
製品を指定された数だけ製造する際に必要な部品、半製品の数量
- グレード

使用する部品、半製品の使えるグレード

- 消費期限

使用する部品、半製品が消費期限を設定してあるものである場合の使用できる消費期限の条件

◇ 使用品情報

使用した部品、半製品の情報

- コード

使用した部品、半製品のコード

- 名称

使用した部品、半製品の名称

- ロット No.

使用した部品、半製品のロット No.

一つのロットでは不足が生じ、複数のロットを使用した場合は使用品情報には複数表示されます。

- 使用数量（合計）

使用した部品、半製品の該当ロット内での総使用数量

- グレード

使用した部品、半製品のロットのグレード

- 消費期限

消費期限の指定がある部品、半製品を使用した場合、そのロットの消費期限

◇ 印刷

「印刷」ボタンをクリックすることにより「製造指図書」を印刷します。

製造品情報

製品コード : S001
名称 : 製品001
ロットNo. : 64
グレード : 1
製造数量 : 1
消費期限 : 消費期限なし
製造日 : 2011/12/1

構成品情報

製品コード : B001 製品名 : 部品001
使用数量(単一) : 1 使用数量(合計) : 1 グレード : 全て 消費期限 : 期限なし
製品コード : S002 製品名 : 製品002
使用数量(単一) : 20 使用数量(合計) : 20 グレード : 全て 消費期限 : 期限なし
製品コード : S003 製品名 : 製品002
使用数量(単一) : 2 使用数量(合計) : 2 グレード : 全て 消費期限 : 期限なし
製品コード : b017 製品名 : 部品017
使用数量(単一) : 2 使用数量(合計) : 2 グレード : 全て 消費期限 : 指定なし
製品コード : s016 製品名 : 製品016
使用数量(単一) : 2 使用数量(合計) : 2 グレード : 全て 消費期限 : 指定なし

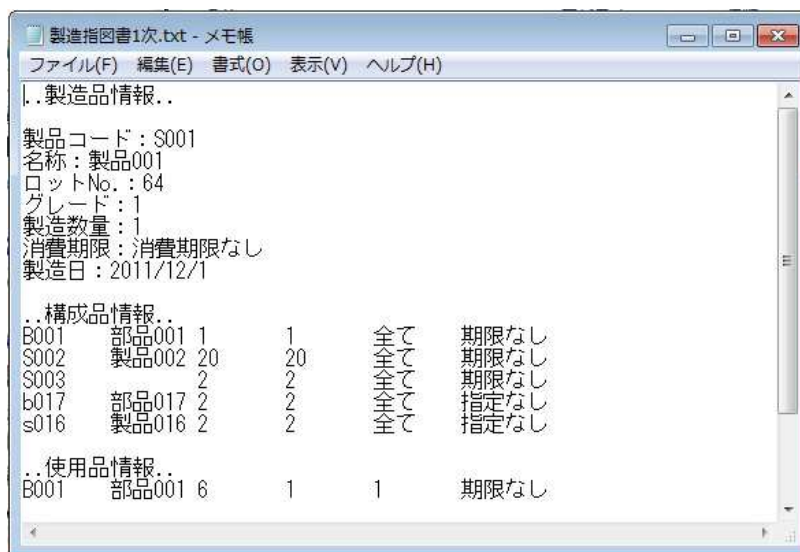
使用品情報

製品コード : B001 名称 : 部品001
ロットNo. : 6 使用数量(合計) : 1 グレード : 1 消費期限 : 期限なし
製品コード : S002 名称 : 製品002
ロットNo. : 58 使用数量(合計) : 20 グレード : 1 消費期限 : 期限なし
製品コード : S003 名称 : 製品002
ロットNo. : 62 使用数量(合計) : 2 グレード : 1 消費期限 : 期限なし
製品コード : B017 名称 : 部品017
ロットNo. : 55 使用数量(合計) : 2 グレード : 1 消費期限 : 2012/11/23
製品コード : S016 名称 : 製品016
ロットNo. : 60 使用数量(合計) : 2 グレード : 1 消費期限 : 2012/11/30

印刷内容は表示内容と同様です。

◇ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「製造指図書」をファイル出力します。



出力内容は表示内容と同様です。

➤ 不足品

下位の部品、半製品が不足して製造不可能な場合、不足品リストが表示されます。



表示内容

◇ 製造品情報

製造する製品の情報

- 製品コード
製造する製品の製品コード
- 名称
製造する製品の名称
- 消費期限
消費期限の指定がある製品を製造する場合、その消費期限

- グレード
製造する製品のグレード
- 製造日
製品を製造しようとした日付
- 製造数量
製造する数量
- ◇ 構成品情報
製造した製品を構成する 1 次階層の部品、半製品情報
 - コード
使用する部品、半製品のコード
 - 名称
使用する部品、半製品の名称
 - 使用数量（単一）
製品を一つ製造する際に必要な部品、半製品の数量
 - 使用数量（合計）
製品を指定された数だけ製造する際に必要な部品、半製品の数量
 - グレード
使用する部品、半製品の使用できるグレード
 - 消費期限
使用する部品、半製品が消費期限を設定してあるものである場合の使用できる消費期限の条件
- ◇ 不足品リスト
在庫が不足している部品、半製品の情報
 - コード
使用する部品、半製品のコード
 - 名称
使用する部品、半製品の名称
 - 必要数量
製造に必要な使用する部品、半製品の総数量
 - 不足数量
製造に必要な使用する部品、半製品の不足している数量

◇ 印刷

「印刷」ボタンをクリックすることにより「不足品リスト」を印刷します。

..製造製品..	
コード : S001	
名称 : 製品001	
グレード : 1	
製造数量 : 1	
消費期限 : 消費期限なし	
製造日 : 2011/12/1	
..構成品情報..	
製品コード : B001	製品名 : 部品001
使用数量(単一) : 1	使用数量(合計) : 1
グレード : 全て	消費期限 : 期限なし
製品コード : S002	製品名 : 製品002
使用数量(単一) : 20	使用数量(合計) : 20
グレード : 全て	消費期限 : 期限なし
製品コード : S003	製品名 :
使用数量(単一) : 2	使用数量(合計) : 2
グレード : 全て	消費期限 : 期限なし
製品コード : b017	製品名 : 部品017
使用数量(単一) : 2	使用数量(合計) : 2
グレード : 全て	消費期限 : 指定なし
製品コード : s016	製品名 : 製品016
使用数量(単一) : 2	使用数量(合計) : 2
グレード : 全て	消費期限 : 指定なし
..不足品リスト..	
コード : B001	名称 : 部品001
必要数量 : 1	不足数量 : 0
コード : S002	名称 : 製品002
必要数量 : 20	不足数量 : 20
コード : S003	名称 :
必要数量 : 2	不足数量 : 2
コード : b017	名称 : 部品017
必要数量 : 2	不足数量 : 0
コード : s016	名称 : 製品016
必要数量 : 2	不足数量 : 2

印刷内容は表示内容と同様です。

◇ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「不足品リスト」をファイル出力します。

..製造製品..	
コード : S001	
名称 : 製品001	
グレード : 1	
製造数量 : 1	
消費期限 : 消費期限なし	
製造日 : 2011/12/1	
..構成品情報..	
B001	部品001 1 1 全て 期限なし
S002	製品002 20 20 全て 期限なし
S003	2 2 全て 期限なし
b017	部品017 2 2 全て 指定なし
s016	製品016 2 2 全て 指定なし
..不足リスト..	
B001	部品001 1 0
S002	製品002 20 10

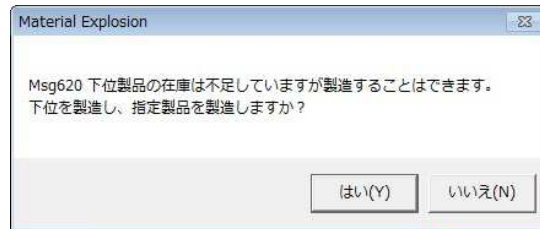
出力内容は表示内容と同様です。

- 全階層での製造

製造する製品を構成する1次階層の部品、半製品の在庫が足りない場合でも下位を製造して最上位を製造する場合はこちらになります。

通常、本方式で製造するケースは少ないと思われますが、特注品の製造、多品種少量の製造等の様に1次階層のパーツを用意していないケースでは本方式の適用は有効です。

尚、1次階層の部品、半製品の在庫が足りている場合は、こちらを選択しても上記の「1次階層での製造」と同じ処理を行います。



下位を製造すれば最上位を製造することが可能な場合、製造の確認メッセージが表示されます。

- 製造指図書

製造を行った場合、製造指図書が表示されます。

また、製造を行った場合、使用した下位の部品、半製品の在庫は使用した分減算され、製造した製品の在庫は製造した分加算されます。

製造指図書

製造品情報
製品コード: S001
名称: 製品001
ロットNo.: 65 グレード: 1 製造数量: 1
消費期限: 消費期限なし 製造日: 2011/12/2

構成品情報

コード	名称	使用数量(単一)	使用数量(合計)	グレード	消費期限
B001	部品001	1	1	全て	期限なし
S002	製品002	20	20	全て	期限なし
S003		2	2	全て	期限なし
B012	部品012	1	1	全て	指定なし

階層リスト

階層	上位コード	下位コード	グレード	必要数量	引き当て数量
1	S001	B001	指定なし	1	1
1	S001	S002	指定なし	20	10
2	S002	S003	指定なし	20	0
3	S003	B003	指定なし	100	100
3	S003	B004	指定なし	100	100

使用品情報

コード	名称	ロットNo.	使用数量(合計)	グレード	消費期限
S002	製品002	58	10	1	期限なし
B003		1	1,210	1	期限なし
B004	部品004	34	112	1	期限なし
B006	部品006	10	20	1	期限なし

印刷 Textファイル出力 戻る

表示内容

- ◇ 製造品情報

製造した製品の情報

- 製品コード
製造した製品の製品コード
- 名称
製造した製品の名称
- ロット No.
製造（入庫）ロット No.

- 消費期限
消費期限の指定がある製品を製造した場合、その消費期限
- グレード
製造した製品のグレード
- 製造日
製品の製造日付
- 製造数量
製造した数量
- ◇ 構成情報
製造した製品を構成する 1 次階層の部品、半製品情報
 - コード
使用する部品、半製品のコード
 - 名称
使用する部品、半製品の名称
 - 使用数量 (単一)
製品を一つ製造する際に必要な部品、半製品の数量
 - 使用数量 (合計)
製品を指定された数だけ製造する際に必要な部品、半製品の数量
 - グレード
使用する部品、半製品の使用できるグレード
 - 消費期限
使用する部品、半製品が消費期限を設定してあるものである場合の使用できる消費期限の条件
- ◇ 階層リスト
製品を構成する全階層リスト
 - 階層
製造する製品の階層を 0 としたときの階層番号
 - 上位コード
製品構成の上位コード
 - 下位コード
製品構成の下位コード
 - グレード
引き当てることができる下位コードの部品、半製品のグレード
 - 必要数量
上位コードの半製品の在庫が不足していて、下位の部品、半製品を使用して製造する必要がある場合の下位の必要総数
 - 引き当て数量
下位コードの部品、半製品の引き当てた数量
- ◇ 使用品情報
使用した部品、半製品の情報
 - コード
使用した部品、半製品のコード
 - 名称
使用した部品、半製品の名称
 - ロット No.
使用した部品、半製品のロット No.
一つのロットでは不足が生じ、複数のロットを使用した場合は使用品情報には複数表示されます。
 - 使用数量 (合計)
使用した部品、半製品の該当ロット内での総使用数量

- グレード
使用した部品、半製品のロットのグレード
- 消費期限
消費期限の指定がある部品、半製品を使用した場合、そのロットの消費期限

◇ 印刷

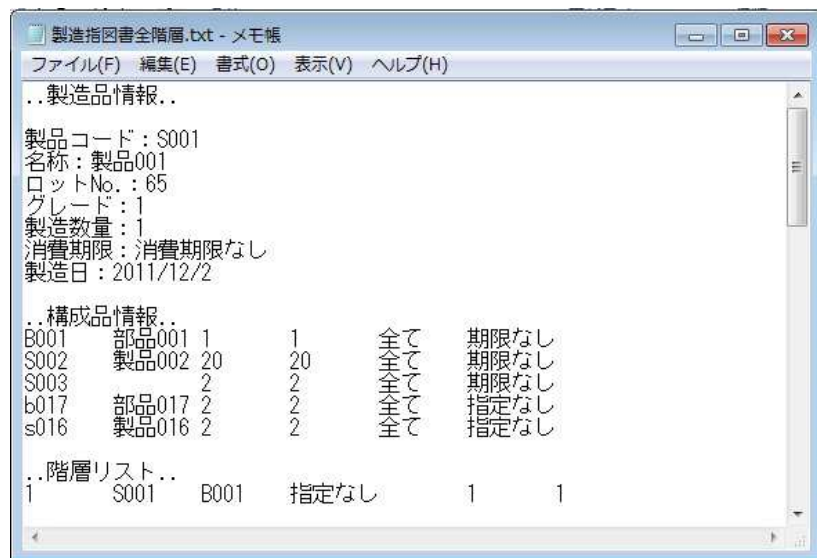
「印刷」ボタンをクリックすることにより「製造指図書」を印刷します。

..製造品情報..									
製品コード	S001	製品名	部品001	使用数量(合計)	1	グレード	全て	消費期限	期限なし
名称	製品001	ロットNo.	65	使用数量(単一)	20	グレード	全て	消費期限	期限なし
グレード	1	製造数量	1	使用数量(単一)	2	グレード	全て	消費期限	期限なし
消費期限	消費期限なし	製造日	2011/12/2	使用数量(単一)	2	グレード	全て	消費期限	指定なし
..構成品情報..									
製品コード	B001	製品名	部品001	使用数量(合計)	1	グレード	全て	消費期限	期限なし
使用数量(単一)	20	製品名	製品002	使用数量(合計)	20	グレード	全て	消費期限	期限なし
製品コード	S002	製品名	部品002	使用数量(合計)	2	グレード	全て	消費期限	期限なし
使用数量(単一)	2	製品名	部品017	使用数量(合計)	2	グレード	全て	消費期限	指定なし
製品コード	b017	製品名	製品016	使用数量(合計)	2	グレード	全て	消費期限	指定なし
使用数量(単一)	2	製品名	製品016	使用数量(合計)	2	グレード	全て	消費期限	指定なし
..階層リスト..									
階層	1	上位コード	S001	下位コード	B001	グレード	指定なし		
必要数量	1	上位コード	S001	下位コード	S002	グレード	指定なし		
必要数量	20	上位コード	S002	下位コード	S003	グレード	指定なし		
必要数量	20	上位コード	S003	下位コード	B003	グレード	指定なし		
必要数量	100	上位コード	S003	下位コード	B004	グレード	指定なし		
必要数量	100	上位コード	S002	下位コード	S004	グレード	指定なし		
必要数量	10	上位コード	S004	下位コード	B001	グレード	指定なし		
必要数量	20	上位コード	S004	下位コード	B006	グレード	指定なし		
必要数量	20	上位コード	S002	下位コード	B001	グレード	指定なし		
必要数量	20	上位コード	S002	下位コード	B005	グレード	指定なし		
必要数量	50	上位コード	S001	下位コード	S003	グレード	指定なし		
必要数量	2	上位コード	S003	下位コード	B003	グレード	指定なし		
必要数量	10	上位コード	S003	下位コード	B004	グレード	指定なし		
必要数量	10	上位コード	S003	下位コード	B004	グレード	指定なし		
必要数量	2	上位コード	S001	下位コード	b017	グレード	指定なし		
必要数量	2	上位コード	S001	下位コード	s016	グレード	指定なし		
必要数量	2	上位コード	s016	下位コード	b015	グレード	指定なし		
必要数量	2	上位コード	s016	下位コード	b004	グレード	指定なし		
必要数量	2	上位コード	s016	下位コード	s010	グレード	指定なし		
必要数量	2	上位コード	S010	下位コード	S011	グレード	指定なし		
必要数量	10	上位コード	S011	下位コード	S012	グレード	指定なし		
必要数量	100	上位コード	S012	下位コード	B001	グレード	指定なし		
必要数量	1,000	上位コード	S012	下位コード	B002	グレード	指定なし		
必要数量	1,000	上位コード	S012	下位コード	B003	グレード	指定なし		
必要数量	1,000	上位コード	S011	下位コード	B002	グレード	指定なし		
必要数量	100	上位コード	S010	下位コード	S012	グレード	指定なし		
必要数量	10	上位コード	S012	下位コード	B001	グレード	指定なし		
必要数量	100	上位コード	S012	下位コード	B002	グレード	指定なし		
必要数量	100	上位コード	S012	下位コード	B003	グレード	指定なし		
必要数量	100	上位コード	S010	下位コード	B001	グレード	指定なし		
必要数量	10	上位コード	S010	下位コード	b018	グレード	指定なし		
必要数量	4	上位コード		引き当て数量	4	グレード	指定なし		
..使用品情報..									
コード	B001	名称	部品001	使用数量(合計)	1,151	グレード	1	消費期限	期限なし
ロットNo.	6	名称	製品002	使用数量(合計)	10	グレード	1	消費期限	期限なし
コード	S002	名称	部品004	使用数量(合計)	1,210	グレード	1	消費期限	期限なし
ロットNo.	58	名称	部品006	使用数量(合計)	112	グレード	1	消費期限	期限なし
コード	B003	名称	部品005	使用数量(合計)	20	グレード	1	消費期限	期限なし
ロットNo.	1	名称	部品017	使用数量(合計)	50	グレード	1	消費期限	期限なし
コード	B004	名称	製品016	使用数量(合計)	2	グレード	1	消費期限	2012/11/23
ロットNo.	3	名称	製品016	使用数量(合計)	1	グレード	1	消費期限	2012/11/30
コード	S016	名称	部品015	使用数量(合計)	2	グレード	1	消費期限	2012/11/23
ロットNo.	55	名称	部品002	使用数量(合計)	1,200	グレード	1	消費期限	期限なし
コード	B015	名称	部品018	使用数量(合計)	4	グレード	1	消費期限	2012/11/23
ロットNo.	52	名称							
コード	B002	名称							
ロットNo.	8	名称							
コード	B018	名称							
ロットNo.	54	名称							

印刷内容は表示内容と同様です。

◇ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「製造指図書」をファイル出力します。



出力内容は表示内容と同様です。

➤ 不足品

下位の部品が不足して製造不可能な場合、不足品リストが表示されます。



表示内容

◇ 製造品情報

製造する製品の情報

- 製品コード
製造する製品の製品コード
- 名称
製造する製品の名称
- 消費期限
消費期限の指定がある製品を製造する場合、その消費期限

- グレード
製造する製品のグレード
- 製造日
製品を製造しようとした日付
- 製造数量
製造する数量
- ◇ 構成品情報
製造した製品を構成する 1 次階層の部品、半製品情報
 - コード
使用する部品、半製品のコード
 - 名称
使用する部品、半製品の名称
 - 使用数量（単一）
製品を一つ製造する際に必要な部品、半製品の数量
 - 使用数量（合計）
製品を指定された数だけ製造する際に必要な部品、半製品の数量
 - グレード
使用する部品、半製品の使用できるグレード
 - 消費期限
使用する部品、半製品が消費期限を設定してあるものである場合の使用できる消費期限の条件
- ◇ 階層リスト
製品を構成する全階層リスト
 - 階層
製造する製品の階層を 0 としたときの階層番号
 - 上位コード
製品構成の上位コード
 - 下位コード
製品構成の下位コード
 - グレード
引き当てることができる下位コードの部品、半製品のグレード
 - 必要数量
上位コードの半製品の在庫が不足していて、下位の部品、半製品を使用して製造する必要がある場合の下位の必要総数
 - 引き当て数量
下位コードの部品、半製品の引き当てた数量
- ◇ 不足品リスト
在庫が不足している部品、半製品の情報
 - コード
使用する部品、半製品のコード
コードの欄に（*）が付加されたものは（半）製品です。（半）製品は下位の部品、半製品で製造しますのでその不足数量は参考値です。下位の部品にこの（半）製品を製造するのに必要な数量は集計されています。
 - 名称
使用する部品、半製品の名称
 - 必要数量
製造に必要な使用する部品、半製品の総数量
 - 不足数量
製造に必要な使用する部品、半製品の不足している数量

「印刷」ボタンをクリックすることにより「不足品リスト」を印刷します。

・製造品情報

製品コード: S001
名称: 製品001
製造数量: 1
消費期限: 消費期限なし
製造日: 2011/12/2

・構成品情報

製品コード: B001 製品名: 部品001
使用数量(単位): 1 使用数量(合計): 1
消費期限: 期限なし
製品コード: S002 製品名: 製品002
使用数量(単位): 20 使用数量(合計): 20
消費期限: 期限なし
製品コード: S003 製品名: 部品002
使用数量(単位): 2 使用数量(合計): 2
消費期限: 期限なし
製品コード: b017 製品名: 部品003
使用数量(単位): 2 使用数量(合計): 2
消費期限: 指定なし
製品コード: s016 製品名: 製品016
使用数量(単位): 2 使用数量(合計): 2
消費期限: 指定なし

・階層リスト

階層 必要数量 上位コード 下位コード グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S001 引き当て数量 1 S002 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード 20 引き当て数量 0 B003 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S002 下位コード S003 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S003 引き当て数量 5 B004 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S003 引き当て数量 200 S004 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S002 下位コード S004 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S004 引き当て数量 0 B001 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード 40 引き当て数量 40 B006 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S002 下位コード B005 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S002 引き当て数量 40 B005 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード 100 引き当て数量 100 S003 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S001 下位コード S003 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S003 下位コード B003 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S003 引き当て数量 0 B004 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード 10 引き当て数量 10 S016 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード e001 下位コード b017 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード e001 引き当て数量 0 b015 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S016 下位コード b004 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S016 引き当て数量 4 s010 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S010 下位コード s011 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S011 引き当て数量 0 B001 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S012 下位コード B002 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S012 引き当て数量 60 B003 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S012 引き当て数量 0 B002 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S011 下位コード S012 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S010 引き当て数量 200 B001 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S012 下位コード B002 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S012 引き当て数量 0 B003 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S010 下位コード B001 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード S010 引き当て数量 20 s010 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード s010 下位コード b018 グレード 指定なし
階層 必要数量 上位コード 8 引き当て数量 8

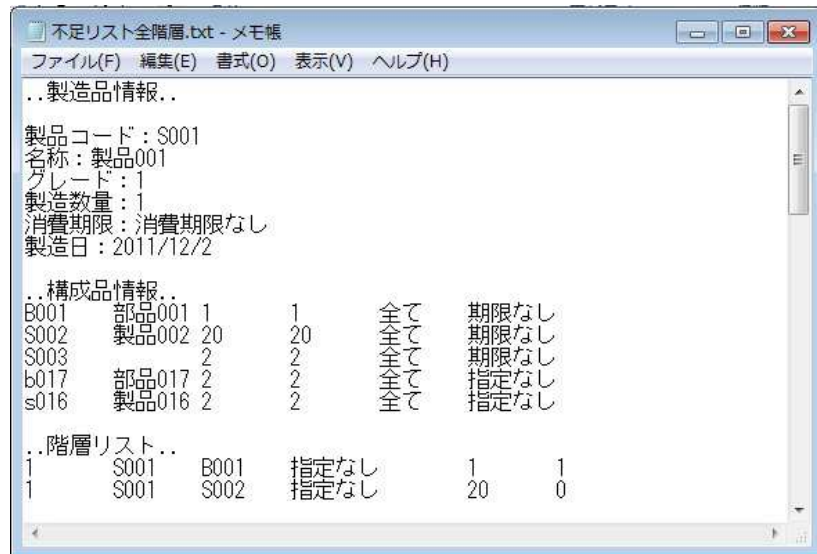
・不足品リスト

コード 必要数量 名称 部品001 不足数量: 0
コード 必要数量 B003 2,301 不足数量: 2,405
コード 必要数量 B004 2,410 不足数量: 0
コード 必要数量 B004 214 不足数量: 0
コード S003(*) 42 名称 部品006 不足数量: 42
コード 必要数量 B006 40 名称 製品004 不足数量: 0
コード 必要数量 S004(*) 20 名称 製品004 不足数量: 20
コード 必要数量 B005 100 名称 部品005 不足数量: 0
コード 必要数量 S002(*) 20 名称 製品002 不足数量: 20
コード 必要数量 b017 2 名称 部品017 不足数量: 0
コード 必要数量 b015 4 名称 部品015 不足数量: 0
コード 必要数量 B002 2,400 名称 部品002 不足数量: 2,340
コード 必要数量 s012(*) 220 名称 製品012 不足数量: 220
コード 必要数量 S011(*) 20 名称 製品011 不足数量: 20
コード 必要数量 b018 8 名称 部品018 不足数量: 0
コード 必要数量 s010(*) 4 名称 製品010 不足数量: 4
コード 必要数量 s016(*) 2 名称 製品016 不足数量: 2

印刷内容は表示内容と同様です。

◇ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」ボタンをクリックすることにより「不足品リスト」をファイル出力します。



出力内容は表示内容と同様です。

◇ レベルデータ印刷

階層リスト		
S001	B001	必要数: 1
S001	S002	必要数: 2
S001	S003	必要数: 2
s001	b017	必要数: 2
s001	s016	必要数: 2
S002	S003	必要数: 2
S002	S004	必要数: 1
S002	B001	必要数: 2
S002	B005	必要数: 5
S003	B003	必要数: 5
S003	B004	必要数: 5
s016	b015	必要数: 2
s016	b004	必要数: 2
s016	s010	必要数: 2
S004	B001	必要数: 2
S004	B006	必要数: 2
S010	S011	必要数: 5
S010	S012	必要数: 5
S010	B001	必要数: 5
s010	b018	必要数: 2
S011	S012	必要数: 10
S011	B002	必要数: 10
S012	B001	必要数: 10
S012	B002	必要数: 10
S012	B003	必要数: 10
レベルデータ		
Level 0		
S001 (製品001)		
Level 1		
S002 (製品002), 必要数=2, (半) 製品		
S003 (), 必要数=2, (半) 製品		
S016 (製品016), 必要数=2, (半) 製品		
B001 (部品001), 必要数=1, 部品		
B017 (部品017), 必要数=2, 部品		
Level 2		
S003 (), 必要数=4, (半) 製品		
S004 (製品004), 必要数=2, (半) 製品		
S010 (製品010), 必要数=4, (半) 製品		
B001 (部品001), 必要数=4, 部品		
B005 (部品005), 必要数=10, 部品		
B003 (), 必要数=10, 部品		
B004 (部品004), 必要数=14, 部品		
B015 (部品015), 必要数=4, 部品		
Level 3		
S011 (製品011), 必要数=20, (半) 製品		
S012 (製品012), 必要数=20, (半) 製品		
B001 (部品001), 必要数=24, 部品		
B003 (), 必要数=20, 部品		
B004 (部品004), 必要数=20, 部品		
B006 (部品006), 必要数=4, 部品		
B018 (部品018), 必要数=8, 部品		
Level 4		
S012 (製品012), 必要数=200, (半) 製品		
B001 (部品001), 必要数=200, 部品		
B003 (), 必要数=200, 部品		
B002 (部品002), 必要数=400, 部品		
Level 5		
B001 (部品001), 必要数=2000, 部品		
B003 (), 必要数=2000, 部品		
B002 (部品002), 必要数=2000, 部品		
構成品 (半製品) の種類と総数量		
S002 (製品002), 必要数=2		
S003 (), 必要数=6		
S016 (製品016), 必要数=2		
S004 (製品004), 必要数=2		
S010 (製品010), 必要数=4		
S011 (製品011), 必要数=20		
S012 (製品012), 必要数=220		
B001 (部品001), 必要数=2229		
B017 (部品017), 必要数=2		
B005 (部品005), 必要数=10		
B003 (), 必要数=2230		
B004 (部品004), 必要数=34		
B015 (部品015), 必要数=4		
B006 (部品006), 必要数=4		
B018 (部品018), 必要数=8		
B002 (部品002), 必要数=2400		

階層リスト、各階層毎の部品、半製品の種類と必要数、及び製品を構成す部品、半製品の総数量です。

半製品は更に下位の部品、半製品によって構成されていますので、半製品を用意しなくても部品として印刷されているものを必要数分そろえれば製品を製造できることになります。

5.5.2 複数部品製造

複数部品を製造します。

製造時には、使用した部品、製品の在庫量の減算、製造部品の在庫量の加算を行います。



- 製造する複数部品を指定します。
 - ✧ 指定方法は親コードをもとに指定するか、子コードを元に指定するかを選択します。
 - ✧ その後、選択するコードの一部又は全部を入力して「選択」ボタンをクリックします。
 - ✧ コードの中に入力した文字列が、親コード又は子コードの中に存在する複数部品情報の一覧が表示されます。「選択コード」の欄に何も入力せずに、「選択」ボタンをクリックした場合、全ての複数部品情報の一覧が表示されます。その中から該当データを選択します。



親コード	製品、部品名	子コード	部品名	製造数
B003		B004	部品004	5
B003		B005	部品005	10
B004	部品004	B006	部品006	20
B007	部品007	B008	部品008	30
B009	部品009	B010	部品010	10
B012	部品012	B013	部品013	20
B006	部品006	B003		10
B005	部品005	B003		10

選択方法は該当データをクリック後、「選択」ボタンをクリックします。選択された構成が「戻る」ボタンの横に表示されます。何度でも選択することができます。最後に「選択」ボタンの横に表示されているものが対象となります。

対象が決まりましたら「決定」ボタンをクリックします。

「戻る」ボタンをクリックした場合、選択を中止して戻ります。

複数部品製造

親製品 部品
コード: B012
名称: 部品012

グレード	消費期限内	消費期限外
1		10
2		0
3		0
4		0
5		0

グレード指定: ☒ 範囲 ☐ 個別 全て
 消費期限: ☐ 期限内 ☐ 期限外 ☒ 指定なし
 消費期限到達順序: ☐ 古い順 ☐ 若い順 ☒ 指定なし

子部品(製造物)
コード: B013
名称: 部品013

抽出数量: 20
グレード: 1 消費期限: 2012年12月 2日 製造日付: 2011年12月 9日

親製品 部品使用数量: 3

製造 戻る

- 親製品の各グレード毎の在庫が表示されます。尚、在庫量は製造日付より以前に入庫されたものを対象としていますので製造日付を変更すると変わる可能性があります。
- 使用する親製品、部品の条件を設定します。
 - グレード指定
 - ✧ 範囲
グレードの範囲を指定します。例えば「3」を指定した場合、使用するグレードは1～3になります。
 - ✧ 個別
グレードを個別に指定します。例えば「3」を指定した場合、使用するグレードは3のみになります。
 - 消費期限

使用する親製品、部品に消費期限が指定されている場合、消費期限の条件を指定します。

 - ✧ 期限内
製造（入庫）日が消費期限内のロットのみを使用します。
 - ✧ 期限外
製造（入庫）日が消費期限を過ぎたロットのみを使用します。
 - ✧ 指定なし
消費期限は考慮しません。
 - 消費期限到達順序

使用する親製品、部品に消費期限が指定されている場合、消費期限到達順序の条件を指定します。

 - ✧ 古い順
消費期限の到達順序が古いロットから使用します。
 - ✧ 若い順
消費期限の到達順序が若いロットから使用します。
 - ✧ 指定なし
消費期限の到達順序は考慮しません。
- 製造する部品の条件を設定します。
 - グレード
製造する部品のグレードを指定します。
 - 消費期限
消費期限が指定されている部品を製造する場合は消費期限を指定します。
 - 製造日付

製造日付を指定します。

- 製造します。
 - 親製品、部品の使用数量を指定します。
 - 「製造」ボタンをクリックして複数部品を製造します。



在庫が足りて製造が可能な場合、製造の確認メッセージが表示されます。

➤ 製造指図書

製造を行った場合、製造指図書が表示されます。

また、製造を行った場合、使用した親製品、部品の在庫は使用した分減算され、製造した部品の在庫は製造した分加算されます。



表示内容

◇ 親製品、部品

使用した親製品、部品の情報

- コード
親製品、部品のコード
- 名称
親製品、部品の名称
- グレード指定
親製品、部品の使用するグレードの指定
- 消費期限
親製品、部品の消費期限の指定
- 消費数量
親製品、部品の消費数量

◇ 子部品（製造物）

製造した部品の情報

- ロット No.
製造物のロット No.
- コード
製造物の部品コード

- 名称
製造物の名称
- 抽出数量
一つの親製品、部品から抽出（製造）出来る製造物の数量
- グレード指定
製造物のグレード
- 消費期限
消費期限の指定がある部品を製造した場合、その消費期限
- 製造日
製造物の製造日付
- 総製造数量
製造物の総製造数量

◇ 印刷

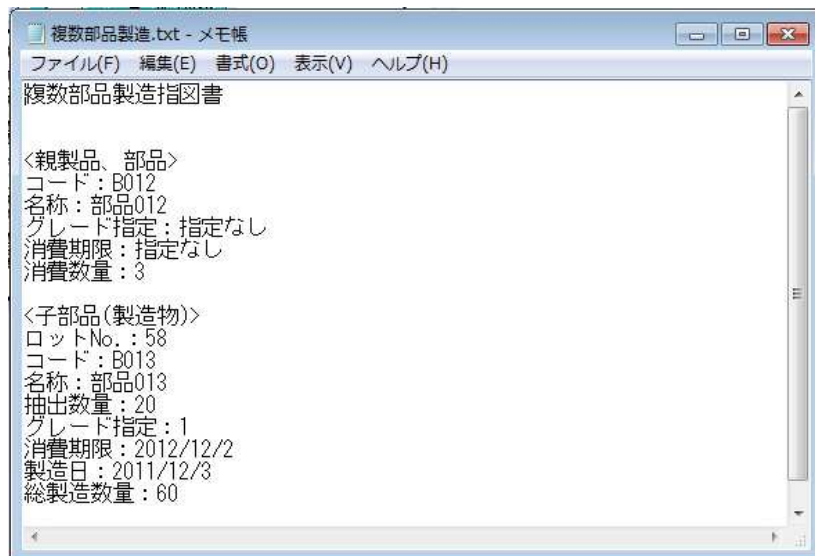
「印刷」 ボタンをクリックすることにより「製造指図書」を印刷します。



印刷内容は表示内容と同様です。

◇ TAB 区切り Text 出力

「TAB 区切り Text 出力」 ボタンをクリックすることにより「製造指図書」をファイル出力します。

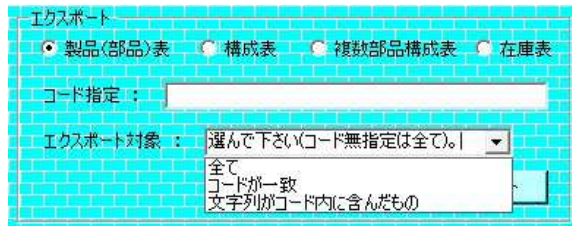


出力内容は表示内容と同様です。

5.5.3 エクスポート

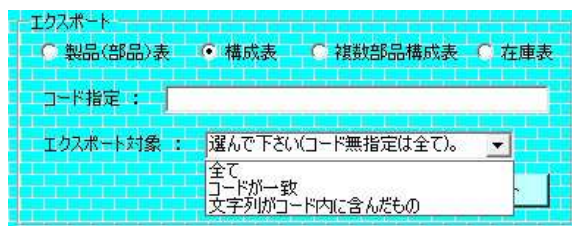
製品表、構成表、複数部品構成表、在庫表を TAB 区切り Text ファイルで出力します。
出力されたファイルのフォーマットはそれぞれTAB 区切り Text 登録で登録するファイルと同フォーマットです。

➤ 製品（部品表）



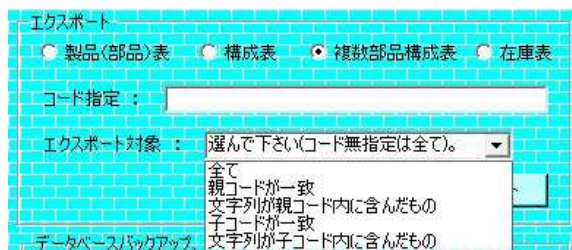
- ◇ エクスポート対象を選択します。
コードを指定しない場合、「全て」を選択したのと同じになります。
 - 全て
全ての製品、部品が対象となります。
 - コードが一致
コードの中に入力した文字列が一致する製品、部品が対象となります。
 - 文字列がコード内に含んだもの
コードの中に入力した文字列が存在する製品、部品が対象となります。
- ◇ 「エクスポート」ボタンをクリックしてファイルを出力します。

➤ 構成表



- ◇ エクスポート対象を選択します。
コードを指定しない場合、「全て」を選択したのと同じになります。
 - 全て
全ての構成情報が対象となります。
 - コードが一致
コードの中に入力した文字列が一致する構成情報が対象となります。
 - 文字列がコード内に含んだもの
コードの中に入力した文字列が存在する構成情報が対象となります。
- ◇ 「エクスポート」ボタンをクリックしてファイルを出力します。

➤ 複数部品構成表



- ◇ エクスポート対象を選択します。
コードを指定しない場合、「全て」を選択したのと同じになります。
 - 全て
全ての複数部品構成情報が対象となります。

- 親コードが一致
親コードの中に入力した文字列が一致する複数部品構成情報が対象となります。
- 文字列が親コード内に含んだもの
親コードの中に入力した文字列が存在する複数部品構成情報が対象となります。
- 子コードが一致
子コードの中に入力した文字列が一致する複数部品構成情報が対象となります。
- 文字列が子コード内に含んだもの
子コードの中に入力した文字列が存在する複数部品構成情報が対象となります。

☆ 「エクスポート」ボタンをクリックしてファイルを出力します。

➤ 在庫表

☆ エクスポート対象を選択します。

コードを指定しない場合、「全て」を選択したのと同じになります。

- 全て
全ての在庫情報が対象となります。
- コードが一致
コードの中に入力した文字列が一致する製品、部品の在庫情報が対象となります。
- 文字列がコード内に含んだもの
コードの中に入力した文字列が存在する製品、部品の在庫情報が対象となります。

☆ 「エクスポート」ボタンをクリックしてファイルを出力します。

5.5.4 バックアップ／リストア

データベースのバックアップ、リストアを行います。

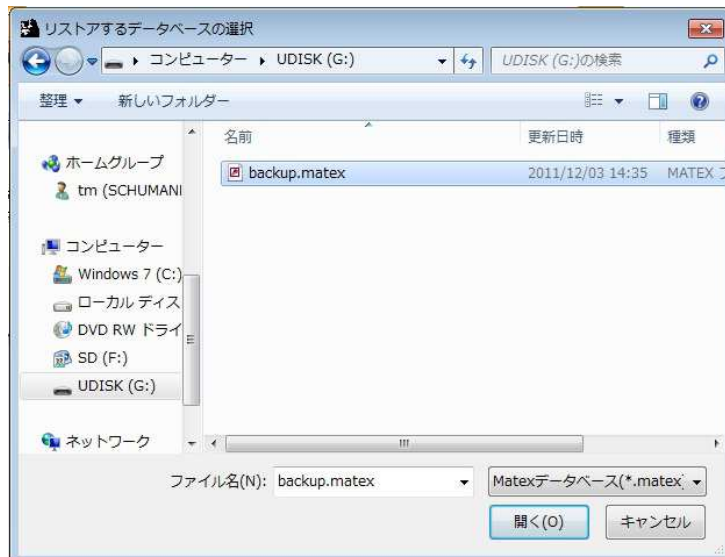
➤ バックアップ

Material Explosion のデータベースをバックアップします。拡張子は「matex」です。

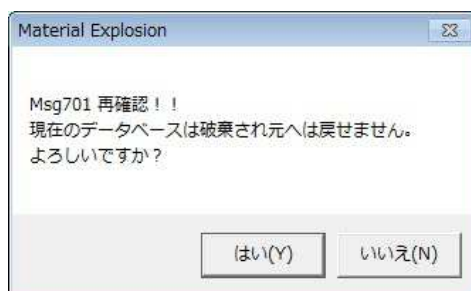
➤ リストア



「リストア」ボタンをクリックした際、現在のデータベースは破棄される旨の確認メッセージが表示されます。



リストアする Material Explosion のデータベースを指定します。



リストアの再確認メッセージが表示されます。

6 メッセージ

メ ッ セ ー ジ	内 容
Msg1 Material Explosion のデータベースが存在しませんのでプログラムを終了します。	Material Explosion のデータベースが本システムで定められた場所に存在しない場合に表示されます。
Msg2 Material Explosion のデータベースを初期化します。全ての情報がなくなります。よろしいですか？	Material Explosion のデータベースを初期化する際の確認メッセージです。
Msg3 現在の部品、製品情報は全て失われ、新規に作成しますよろしいですか？	部品、製品 TAB 区切り Text 新規登録を行う際の確認メッセージです。
Msg4 TAB 区切り Text ファイル内のデータのフォーマットが正しくありません。	TAB 区切り Text ファイルを読み込んでデータのフォーマットが正しくない場合に表示されます。
Msg5 TAB 区切り Text ファイル内のデータの部品、製品コードが重複しています。	TAB 区切り Text ファイルを読み込んで部品、製品コードが重複している場合に表示されます。
Msg6 TAB 区切り Text ファイル内のデータの部品、製品コードがデータベースに登録されていません。	在庫量 TAB 区切り Text 登録等、部品、製品コードがデータベースに登録されている必要があるにもかかわらず、その情報がデータベースに登録されていない場合に表示されます。
Msg10 データベースを初期化しました。	データベースの初期化が完了したときに表示されます。
Msg11 データベース定義が完了しました。	データベース定義が完了したときに表示されます。
Msg12 現在の複数部品構成情報は全て失われ、新規に作成します。よろしいですか？	複数部品 TAB 区切り Text 新規登録を行う際の確認メッセージです。
Msg41 製品、部品のコードが未定義です。	製品、部品のコードが未定義の場合に表示されます。
Msg42 製品、部品のコードの桁数が正しくありません。	製品、部品登録時に製品、部品のコードの長さが正しくない場合に表示されます。
Msg43 TAB 区切り Text ファイル内のデータの部品、製品コードがデータベース内のデータと重複しています。	TAB 区切り Text ファイルの部品、製品コードがデータベース既に登録されている場合に表示されます。
Msg101 部品、製品コード最大長の定義が正しくありません。	データベース定義で部品、製品コード最大長の定義が正しくない場合に表示されます。
Msg102 部品、製品名最大長の定義が正しくありません。	データベース定義で部品、製品名最大長の定義が正しくない場合に表示されます。
Msg104 グレード数の定義が正しくありません。	データベース定義でグレードの定義が正しくない場合に表示されます。
Msg105 消費期限デフォルト日数の定義が正しくありません。	データベース定義で消費期限デフォルト日数の定義が正しくない場合に表示されます。
Msg106 在庫上限値デフォルト値の定義が正しくありません。	データベース定義で在庫上限値デフォルト値の定義が正しくない場合に表示されます。
Msg107 在庫下限値デフォルト値の定義が正しくありません。	データベース定義で在庫上限値デフォルト値の定義が正しくない場合に表示されます。
Msg108 在庫上限値デフォルト値が在庫下限値デフォルト値より小さいです。	データベース定義で在庫上限値デフォルト値が在庫下限値デフォルト値より小さい場合に表示されます。
Msg109 最大印刷行数の定義が正しくありません。	データベース定義で最大印刷行数の定義が正しくない場合に表示されます。
Msg110 TAB 区切り Text データが開けません。他のプログラムによって占有されている可能性があります。	TAB 区切り Text ファイルを読み込もうとして読み込めなかった場合に表示されます。
Msg201 部品、製品コードを指定して下さい。	部品、製品の登録時にコードが入力されていない場合に表示されます。
Msg204 部品、製品コードが重複しています。	部品、製品の登録時にコードが重複している場合に表示されます。

Msg206 部品、製品名の長さがオーバーしました。	部品、製品の登録時に名前の長さがデータベース定義で指定した長さをオーバーした場合に表示されます。
Msg209 部品、製品情報を更新します。よろしいですか？	部品、製品情報の更新を行う際の確認メッセージです。
Msg210 部品、製品情報を更新しました。	部品、製品情報の更新を行った際に表示されます。
Msg211 部品、製品情報を削除します。該当部品、製品の在庫もクリアされます。よろしいですか？	部品、製品情報の削除を行う際の確認メッセージです。
Msg212 部品、製品情報を削除しました。	部品、製品情報の削除を行った際に表示されます
Msg213 指定された部品、製品情報がありません。	指定された部品、製品情報がデータベースに登録されていない場合に表示されます。
Msg214 コードが指定されていない場合は全ての部品、製品情報を表示します。大量になる場合がありますがよろしいですか？	部品、製品のコードを指定しない場合、全ての情報を表示するため、大量になる可能性がある警告メッセージです。
Msg215 在庫の値が正しくありません。	在庫更新時に在庫の値が正しくない場合に表示されます。
Msg216 在庫情報を更新しました。	在庫更新を行った際に表示されます。
Msg217 部品、製品情報を登録します。よろしいですか？	部品、製品情報の登録を行う際の確認メッセージです。
Msg218 部品、製品情報を登録しました。	部品、製品情報の登録を行った際に表示されます
Msg219 TAB 区切り Text 形式で出力しました。	TAB 区切り Text ファイルを出力した際に表示されます。
Msg220 TAB 区切り Text 形式で出力中にエラーが発生しました。	TAB 区切り Text ファイル出力中にエラーが発生した場合に表示されます。
Msg221 製品構成の上位コードと下位コードが同じです。	製品構成編集時に上位コードと下位コードが同じ場合に表示されます。
Msg223 入庫日が正しくありません。	入庫日の形式が正しくない場合に表示されます。
Msg224 消費期限が正しくありません。	消費期限の形式が正しくない場合に表示されます。
Msg225 在庫の合計値が正しくありません。	在庫個別メンテナンスで各グレードの在庫合計値がもとの在庫量と一致しない場合に表示されます。
Msg226 在庫情報は個別に更新され、抽出条件と一致なくなっている可能性がありますので上位へ戻ります。	在庫個別メンテナンスで在庫量をメンテナンスした場合に表示されます。
Msg227 入庫の値が正しくありません。	在庫登録で入庫量が正しくない場合に表示されます。
Msg228 入庫日 ≤ 消費期限でなければなりません。	消費期限が設定されている部品、製品で入庫日が消費期限より後の場合に表示されます。
Msg231 グレードの値が正しくありません。	グレードの指定が正しくない場合に表示されます。
Msg232 在庫上限監視指定がなされているにもかかわらず、上限監視値が設定されていないか正しい値ではないです。	部品、製品登録時に在庫上限監視指定がなされているにもかかわらず、上限監視値が設定されていないか正しい値ではない場合に表示されます。
Msg234 在庫下限監視指定がなされているにもかかわらず、下限監視値が設定されていないか正しい値ではないです。	部品、製品登録時に在庫下限監視指定がなされているにもかかわらず、下限監視値が設定されていないか正しい値ではない場合に表示されます。
Msg236 在庫上限値が下限監視値より小さいです。	在庫上限値と下限監視値の両方を監視する設定になっていて、在庫上限値が下限監視値より小さい場合に表示されます。
Msg237 グレード数は減らすことは出来ません。	部品、製品情報編集時に既に在庫が存在する可能性もあるため、グレード数は増やすことは出来ても減らすことは出来ません。
Msg238 コードが指定されていない場合は全ての部品、製品の在庫情報を表示します。大量になる場合がありますがよろしいですか？	部品、製品のコードを指定しない場合、全ての情報を表示するため、大量になる可能性がある警告メッセージです。
Msg239 入庫数の値が正しくありません。	入庫処理で入庫数の値が正しくない場合に表示されます。

Msg241 製造物のグレードが指定されていません。	製品展開、製造時に製造物のグレードが指定されていない場合に表示されます。
Msg242 親コードまたは子コードが未指定、或は桁数オーバーです。または親コードと子コードが同じです。	複数部品構成登録時に親コード、子コードの指定が正しくない場合に表示されます。
Msg243 製造数の値が正しくありません。	複数部品構成登録時に製造数の指定が正しくない場合に表示されます。
Msg244 TAB 区切り Text ファイル内のデータの定義が重複しています。	複数部品構成登録時に Text ファイル内のデータの内容が重複している場合に表示されます。
Msg245 構成がデータベース内のデータと重複しています。	複数部品構成登録時にデータの内容がデータベースに登録されている情報と重複している場合に表示されます。
Msg301 現在の製品構成情報は全て失われ、新規に作成します。よろしいですか？	製品構成 TAB 区切り Text 新規登録を行う際の確認メッセージです。
Msg312 コードが指定されていない場合は全ての構成情報を表示します。大量になる場合がありますがよろしいですか？	製品のコードを指定しない場合、全ての情報を表示するため、大量になる可能性がある警告メッセージです。
Msg313 指定された構成情報がありません。	指定されたコードの製品構成、複数部品構成が存在しない場合に表示されます。
Msg314 上位コードが指定されていません。	製品構成、複数部品構成登録、編集時に上位（親）コードが指定されていない場合に表示されます。
Msg315 下位コードが指定されていません。	製品構成、複数部品構成登録、編集時に下位（子）コードが指定されていない場合に表示されます。
Msg316 必要数が正しくありません。	製品構成登録、編集時に下位の必要数の設定が正しくない場合に表示されます。
Msg318 部品、製品コードがデータベースに登録されていません。	複数部品構成編集、登録時に参照しようとした部品、製品コードがデータベースに登録されていない場合に表示されます。
Msg324 上位コードが指定されていないか、長さがオーバーです。	品構成登録時に上位コードの指定が正しくない場合に表示されます。
Msg325 下位コードが指定されていないか、長さがオーバーです。	品構成登録時に下位コードの指定が正しくない場合に表示されます。
Msg401 製品構成が定義されていません。	製品展開、製造、及び構成チェックで製品構成が定義されていない場合に表示されます。
Msg402 製品構成の上位コードが製品として登録されていません。	製品展開、製造、及び構成チェックで上位コードが製品として登録されていない場合に表示されます。
Msg403 製品構成の下位コードが登録されていません。	製品展開、製造、及び構成チェックで上位コードが登録されていない場合に表示されます。
Msg404 製品構成にループが存在します。	製品展開、製造、及び構成チェックで構成にループが存在する場合に表示されます。
Msg405 構成をチェックするデータが存在しません。	製品構成チェックでチェックするデータが存在しない場合に表示されます。
Msg406 構成にエラーは存在しませんでした。	製品構成チェック、複数部品構成チェックでエラーが存在しなかった場合に表示されます。
Msg407 下位製品が製品構成の上位に製品として定義されていません。	製品として定義されているにもかかわらず製品構成の上位に一度も定義されていない場合に表示されます。
Msg408 部品として登録されているものが製品構成の上位にあります。	製品展開、製造、及び構成チェックで上位に部品が存在する場合に表示されます。
Msg419 Text 形式で出力しました。	エラー情報を Text 出力した際に表示されます。
Msg420 Text 形式で出力中にエラーが発生しました。	Text ファイル出力中にエラーが発生した場合に表示されます。

Msg430 製品構成がデータベース内のデータと重複しています。	製品構成登録、編集時に指定した製品構成がデータベース内の情報と重複している場合に表示されます。
Msg432 TAB 区切り Text ファイル内のデータの製品構成が重複しています。	製品構成登録時に TAB 区切り Text ファイル内のデータの製品構成が重複している場合に表示されます。
Msg500 データを登録しました。	製品構成、複数部品構成を登録した際に表示されます。
Msg501 構成情報を更新しました。	製品構成情報を更新した際に表示されます。
Msg502 製品構成情報を削除します。よろしいですか？	製品構成情報の削除を行う際の確認メッセージです。
Msg503 製品構成情報を削除しました。	製品構成情報を削除した際に表示されます。
Msg505 製造数の指定が正しくありません。	製品を製造する際の製造数の指定が正しくない場合に表示されます。
Msg507 指定製品、部品を入庫しました。	入庫処理で指定製品、部品を入庫した際に表示されます。
Msg508 製品構成情報を更新します。よろしいですか？	製品構成情報の更新を行う際の確認メッセージです。
Msg511 上位コードと下位コードが重複しています。	製品構成登録時に上位コードと下位コードが重複している場合に表示されます。
Msg512 構成が重複しています。	複数部品構成登録時にデータベース内の情報と十九句している場合に表示されます。
Msg513 構成が存在しません。	複数部品編集、構成チェック、製品構成チェック等で指定された構成が存在しない場合に表示されます。
Msg516 製造数が正しくありません。	複数部品登録、編集時に製造数の指定が正しくない場合に表示されます。
Msg517 複数部品構成情報を削除します。よろしいですか？	複数部品構成情報の削除を行う際の確認メッセージです。
Msg518 複数部品構成情報を削除しました。	複数部品構成情報を削除した際に表示されます。
Msg519 複数部品構成情報内の製品、部品に製品コード等が定義されていない、或は子が製品のものが存在します。それらを省いて継続しますか？	複数部品の製造時に複数部品構成の定義に正しくない情報が存在する場合、それを除いて処理を継続するかどうかの確認メッセージです。
Msg520 複数部品を「ロット No.=XXX」で製造しました。	複数部品製造した際に表示されます。
Msg521 Text 形式で出力しました。	複数部品製造指図書を Text ファイルに出力した際に表示されます。
Msg522 Text 形式で出力中にエラーが発生しました。	Text ファイル出力中にエラーが発生した場合に表示されます。
Msg523 複数部品構成情報を更新します。よろしいですか？	複数部品構成情報の更新を行う際の確認メッセージです。
Msg524 複数部品構成情報を更新しました。	複数部品構成情報を更新した際に表示されます。
Msg530 親製品、部品のグレードが指定されていません。	複数部品を製造する際に使用する親製品、部品のグレードが指定されていない場合に表示されます。
Msg531 製造物のグレードが指定されていません。	複数部品を製造する際に製造物のグレードが指定されていない場合に表示されます。
Msg532 製造物の消費期限と製造日の前後関係が正しくありません。	製造物に消費期限が設定されている場合、製造日は消費期限以前でなければなりません。
Msg533 親製品、部品の使用数量の指定が正しくありません。	複数部品の製造で使用する親製品、部品の数量の指定が正しくない場合に表示されます。
Msg534 在庫量が不足していますので製造できません。	複数部品の製造で使用する親製品、部品の数量が在庫量より多い場合に表示されます。
Msg535 在庫量が不足していますので製造で	製品展開、製造で製造に使用する下位部品、製品の在庫量が不

きません。	足している場合に表示されます。
Msg540 親コードと子コードが重複しています。	複数部品構成登録、編集時に親コードと子コードが重複している場合に表示されます。
Msg541 親コードが指定されていません。	複数部品構成登録、編集時に親コードが指定されていない場合に表示されます。
Msg542 子コードが指定されていません。	複数部品構成登録、編集時に子コードが指定されていない場合に表示されます。
Msg600 条件に合致するデータはありません。	指定された条件に合致するデータが存在しない場合に表示されます。
Msg610 下位製品、部品の在庫は足りています。製造しますか？	製品展開、製造時に 1 次階層下の使用する部品、製品の在庫は足りていて製造可能であるので製造するかどうかの確認メッセージです。
Msg611 指定製品を「ロット No.=XXX」で製造しました。	製造を行った際に表示されます。
Msg620 下位製品の在庫は不足していますが製造することはできます。下位を製造し、指定製品を製造しますか？	製品展開、製造時に 1 次階層下の使用する部品、製品の在庫は不足していますが更に下の階層は製造可能であり、それらを製造すれば指定された製品の製造は可能であるので製造するかどうかの確認メッセージです。
Msg631 在庫は足りています。製造しますか？	複数部品製造時に使用する部品、製品の在庫は足りていて製造可能であるので製造するかどうかの確認メッセージです。
Msg700 現在のデータベースは破棄され元へは戻せません。よろしいですか？	データベースリストア時の確認メッセージです。
Msg701 再確認！！現在のデータベースは破棄され元へは戻せません。よろしいですか？	データベースリストア時の最終確認メッセージです。
Msg702 バックアップしました。	データベースをバックアップした際に表示されます。
Msg703 リストアしました。	データベースをリストアした際に表示されます。
Msg900 印刷するデータの量が多すぎます。	印刷時の印刷量が多すぎた場合に表示されます。
Msg901 エラーの数が多すぎます。	製品構成チェック、複数部品構成チェック等でエラーの数が多すぎる場合に表示されます。
Msg902 前回データ更新中に電源断等異常終了した可能性がありますのでデータベース内容をチェックします。この作業には時間がかかる可能性があります。	データベース更新中にシステムが異常終了した形跡があるため、データベースの在庫量の内容をチェックする場合に表示されます。
Msg903 トータルの数量値がシステムで扱える数値を超えます。	本システムで扱える数値は 32 ビット (2,147,483,647) 迄です。処理の途中でその値を超えて処理を中止した場合に表示されます。
Msg1000 製造指図書の印刷又は Text ファイル出力を少なくとも 1 回は行って下さい。	製造指図書の表示から戻る場合、何を製造したか、後でわかるように少なくとも 1 回は印刷又は Text ファイル出力を行って下さい。

7 ログデータ

7.1 ログファイルの格納場所

- Windows XP の場合
All Users プロファイルのアプリケーションデータが C ドライブにある場合
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\MaterialExplosion\MatexLogFile1.txt
- Windows 7 の場合
C:\ProgramData\MaterialExplosion\MatexLogFile1.txt

に格納されます。Text ファイルですのでメモ帳等で内容を確認できます。

尚、ログファイルの大きさは 1MB までですのでそれを超えた場合、ファイル名 : MatexLogFile1.txt の「1」の数値は 2、3... に増えていき、新しくログファイルが生成されます。

7.2 ログデータのフォーマット

項 目	内 容
日時	ログ取得日時です。
ログコード	ログ種別を表すログコードです。
ログデータ	ログデータです。

7.3 ログ種別

ログコード	ログ種別	ログデータ
1000	データベース定義編集	セットしたパラメータ類
1001	データベース初期化	なし
1002	部品、製品 TAB 区切り Text 新規登録	入力ファイルフルパス名、件数
1003	部品、製品 TAB 区切り Text 追加登録	入力ファイルフルパス名、件数
1004	部品、製品個別追加登録	部品、製品コード
1005	部品、製品編集	部品、製品コード
1006	部品、製品削除	部品、製品コード
1010	製品構成 TAB 区切り Text 新規登録	入力ファイルフルパス名、件数
1011	製品構成 TAB 区切り Text 追加登録	入力ファイルフルパス名、件数
1012	製品構成個別追加登録	上位コード、下位コード、個数
1013	製品構成編集	上位コード、下位コード、個数
1014	製品構成削除	上位コード、下位コード、個数
1020	複数部品構成 TAB 区切り Text 新規登録	入力ファイルフルパス名、件数
1021	複数部品構成 TAB 区切り Text 追加登録	入力ファイルフルパス名、件数
1022	複数部品構成個別追加登録	親コード、子コード、個数
1023	複数部品構成編集	親コード、子コード、個数
1024	複数部品構成削除	親コード、子コード
1030	在庫（入庫）量 TAB 区切り Text 登録	入力ファイルフルパス名、件数
1031	在庫情報メンテナンス	部品、製品コード、ロット No.、新旧在庫量
1032	在庫情報個別メンテナンス	部品、製品コード、新旧ロット No.、グレード、新在庫量
1033	入庫処理	部品、製品コード、入庫量、グレード、入庫日、消費期限（設定されていれば）
1040	製品 1 次階層による製造	製品コード、ロット No.、製造個数、グレード、消費期限（設定されていれば）
1041	製品 1 次階層による製造時の使用品情報	部品、製品コード、ロット No.、使用数、Delete（ロットを全部使用した場合）又は Use（ロットの一部を使用した場合）

1045	製品全階層による製造	製品コード、ロット No.、製造個数、グレード、消費期限（設定されていれば）
1046	製品全階層による製造時の使用品情報	部品、製品コード、ロット No.、使用数、Delete（ロットを全部使用した場合）又は Use（ロットの一部を使用した場合）
1050	複数部品製造	部品、製品コード、グレード、ロット No.、製造数
1051	複数部品製造による製造時の使用品情報	部品、製品コード、ロット No.、使用数、Delete（ロットを全部使用した場合）又は Use（ロットの一部を使用した場合）
1060	バックアップ	バックアップ先フルパス
1061	リストア	リストア元フルパス

8 サンプルデータ

8.1 MatexTestData.xls

TAB 区切り Text ファイルを作成するサンプルデータです。
エラーデータも含んでいますので実際のデータを作成する際の参考になると思われます。

8.2 製品、部品新規登録.txt

製品、部品コードを新規に登録するファイルを MatexTestData.xls から TAB 区切り Text ファイルとして抜き出したものです。エラーデータはコメントアウトしています。

8.3 製品、部品追加登録.txt

製品、部品コードを追加で登録するファイルを MatexTestData.xls から TAB 区切り Text ファイルとして抜き出したものです。エラーデータはコメントアウトしています。

8.4 構成情報新規登録.txt

製品構成を新規に登録するファイルを MatexTestData.xls から TAB 区切り Text ファイルとして抜き出したものです。エラーデータはコメントアウトしています。

8.5 構成情報追加登録.txt

製品構成を追加で登録するファイルを MatexTestData.xls から TAB 区切り Text ファイルとして抜き出したものです。エラーデータはコメントアウトしています。

8.6 複数部品構成情報新規登録.txt

複数部品構成を新規に登録するファイルを MatexTestData.xls から TAB 区切り Text ファイルとして抜き出したものです。エラーデータはコメントアウトしています。

8.7 複数部品構成情報追加登録.txt

複数部品構成を追加で登録するファイルを MatexTestData.xls から TAB 区切り Text ファイルとして抜き出したものです。エラーデータはコメントアウトしています。

8.8 在庫登録.txt

在庫情報を追加で登録するファイルを MatexTestData.xls から TAB 区切り Text ファイルとして抜き出したものです。エラーデータはコメントアウトしています。

9 その他

- **TAB 区切り Text ファイル**

通常、このようなデータは **CSV** ファイルと呼ばれる「,」区切りの場合が多いですが、「,」はデータとして扱われることが多く、混乱を避けるため、本システムでは採用せず「**TAB**」区切りを採用しています。**CSV** ファイルと同様に表計算ソフトウェアで **TAB** 区切りファイルとして出力が可能です。

- **TAB 区切り Text ファイル**データ中の省略された項目は必要な場合、データベース定義で定義したデフォルト値を割り当てます。
- 本誌システムでは部品、製品コードの大文字／小文字は区別しません。
- 部品編集等で「検索」と「表示」のボタンが両方存在する画面においては、「検索」の場合は入力されたコードが完全一致（大文字／小文字の違いは無視）するものを対象とし、「表示」の場合は入力された文字がコード内に含むものを対象とします。
- 在庫（入庫）量 **TAB 区切り Text** 登録では同一部品、製品に対して複数行の記載があってもかまいません。複数回在庫として登録加算します。
- 在庫登録等で入庫日をまだ到達していない将来や過ぎた過去に設定することは可能ですが、製品を製造する場合は、その製造日（製造日も将来／過去を設定できます）よりも将来に入庫日が設定されている在庫のロットは製造に使用できませんので、該当製品の製造時に在庫としては対象から省かれます。
- 部品、製品登録等で定義できるグレード数は **MAX100** です。
- データベース定義で定義する 1 ページあたりの印刷行数は 1 ～1000 行です。
- 製品構成、複数部品構成のチェックでエラーが存在しても、そのエラーの対象になっていない構成に付きましては問題ありませんので製造は可能です。また、仮にエラーの存在する構成で製造を行おうとした場合、同様のエラーチェックを行いますので問題はありません。
- 各種用語
 - **部品、製品の定義**
本システムにおいて、部品とはそれを構成する下位のパーツが存在しないもの（実際には存在しても、製造の対象ではなく組み込まれたものとして入手するもの）を部品と定義し、製品とは下位のパーツが存在し、製造の対象になるものを製品と定義します。製品は他の製品を構成する下位のパーツになることもあります。
 - **ロット**
1 回に入庫、製造する単位です。それぞれのロットの数量は異なっても構いません。
 - **グレード**
入庫、製造する部品、製品の品質に差異がある場合もあり、そのような場合のためにグレードの数を指定出来ます。
 - **入庫日（製造日）**
部品、製品の入庫日、製造日を意味します。現在だけでなく過去、将来の日付も指定できます。但し、製造の際、製造日より将来の入庫日のロットは製造日には存在せず、製造の材料として使用できませんので自動的に対象から省かれます。
 - **消費期限**

部品、製品の消費期限です。薬品、生鮮品等にはこの指定が必要になる場合があります。尚、消費期限は入庫日（製造日）より過去に設定することは出来ません。

➤ 複数部品

通常、製品は下位の複数の製品及び部品によって一つの上位製品が製造されます。

複数部品とはその逆で、一つの製品、部品から複数の部品が製造されるようなケースを本システムでは複数部品と呼びます。1枚の鉄板をプレスして複数の同一パーツを製造したり、1反の生地より複数の衣類の同一パーツを裁断したりする場合はこれに該当します。

製造物は下位の構成を本システムでは定義しないため、部品でなければなりません。